

令和6年度

愛媛県

SDGs推進企業

取組事例集

愛媛県SDGs推進企業



愛媛県

# はじめに

SDGsとは、持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) のことで、2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。ジェンダー平等や持続可能な産業化の促進、気候変動対策など、17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

企業にとっても、SDGsに取り組むことで、社会課題の解決に貢献できるだけでなく、新たなビジネス機会の創出や資金調達機会の拡大、人材の獲得などにもつながる可能性があります。

そこで、県では令和3年度から企業向けにSDGs活動の普及啓発を行っており、その一環として、「愛媛県SDGs推進企業登録制度」を実施しています。

本事例集は、登録制度に登録している企業等の皆様のSDGsの取り組みを取りまとめたものです。企業等の皆様がSDGsに具体的に取り組む上で、この事例集を参考としていただければ幸いです。

## 愛媛県SDGs推進企業登録制度

愛媛県では、SDGsの取り組みを行う県内企業等を登録する「愛媛県SDGs推進企業登録制度」を実施しています。

登録制度への登録を通じて、企業等の皆様のSDGs活動が見える化し、SDGs活動を促進するとともに、その活動を対外的に発信していくことを目的としています。

### 登録のメリット

- ①愛媛県SDGs推進企業登録マークの使用
- ②SDGsの取り組みを県HPなどでPR
- NEW** ③社会貢献型職域限定ECサイト「クローズドマート」の利用

### 登録対象者

愛媛県内に本社又は支社等を有し、県内において事業活動を行う法人、団体（国及び地方公共団体を除く。）又は個人事業主

### 申請の方法

下記URLに、実施要綱、申請書、Q&Aなどを掲載しています。申請書に必要な事項を記入いただき、電子申請システム又は郵送にて御提出ください。

<https://www.pref.ehime.jp/page/9002.html>



# 愛媛県SDGs推進企業登録企業のみ 従業員数に制限なく利用が可能に！



## 職域限定 EC サイト『クローズドマート』のご紹介

令和6年9月、愛媛県は株式会社ファーストクラスと連携協定を締結しました。

同社は、やむを得ず廃棄される商品を会員企業や団体の従業員向けに安価で提供する職域限定 EC サイト「クローズドマート」を運営し、SDGsの推進に取り組んでいます。

本協定により、「愛媛県SDGs推進企業」の皆様にもご活用いただけるようになりました。

### サービス概要

#### ● 「愛媛県SDGs推進企業」に登録すれば、 企業規模に関係なく利用契約が可能

サイトの利用は、通常100名以上の企業に限られますが、「愛媛県SDGs推進企業」に登録された企業等は、従業員数に関わらず利用契約が可能です。また、費用は無料です。

#### ● 商品購入が「社会貢献」（食品ロス削減＋寄附） につながる

企業等は、導入を通じてSDGsの推進、さらに従業員の福利厚生の充実を図り、従業員の方々は、商品の購入を通じて、無理のないかたちでSDGsの達成に貢献できます。

#### ● 購入額の3%が愛媛県に寄附

県では寄附を活用し、社会的課題の解決に向けた取組みを促進します。

#### ● 企業は新たな販路を開拓しブランドイメージを 損なわずに商品を販売できる【出品者】

サイトへ出品することも可能です。契約企業だけのECサービスであり、出品に当たってのブランドイメージを保ちます。



クローズドマートホームページ  
<https://www.closedmart.com/>



### 利用者の声



50代 女性

SDGsと気負うことなく、クローズドマートを利用しています。普段あまり購入しないブランドの物を購入してみたり、食したりすることで僅かながらでも社会貢献できるので、今後も継続して利用したいと思っています。



50代 男性

SDGsを意識することはありませんでしたが、クローズドマートを利用して、普段使用する品物が安く購入できるうえに、社会貢献につながるということで、引き続き利用したいと考えています。

# CONTENTS

IH テクノロジー株式会社	4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 愛媛支店	5
青木電気工業株式会社	6
旭食品株式会社 松山支店	7
宇摩森林組合	8
NM FIRM	9
社会福祉法人エリム会	10
株式会社大石工作所	11
加藤塗装工業株式会社	12
株式会社グラン・ジュテ	13
株式会社建設マネジメント四国 松山営業所	14
株式会社光和電機	15
企業組合こもねっと	16
株式会社古湧園 (ホテル古湧園遥)	17
社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山病院	18
重松兄弟設備株式会社	19
四国竹林塗装工業株式会社	20
ジャスティン株式会社	21
城東開発株式会社	22
白石建設工業株式会社	23
株式会社大三建設	24
株式会社田窪工業所	25
株式会社匠 PAINT	26
株式会社ダスキン椿	27
有限会社土居真珠	28
東京海上日動火災保険株式会社 愛媛支店	29
①西日本電信電話株式会社 四国支店	
②NTT ビジネスソリューションズ株式会社 愛媛ビジネス営業部	30
③株式会社NTT フィールドテクノ 愛媛設備部	
株式会社日本有機四国	31
福神汽船株式会社	32
株式会社フジコソ	33
森実運輸株式会社	34
山電工業株式会社	35
株式会社ローソン	36
愛媛管公学生服株式会社	37
株式会社山装	37



## SDGs 達成に向けた取組み

### 東南アジアでの市場展開を目的とした環境負荷低減型の日本酒の製造及び販売



#### 目的・背景

近年、日本人の食文化の嗜好の多様化により、国内では日本食文化を引き出す日本酒の消費量が激減しています。この素晴らしい伝統ある日本酒を、従来の杜氏の匠の技を踏襲しながら、環境負荷低減を意識し、温室効果ガスを削減する発酵法で、東南アジア市場の嗜好にあった日本酒を仕上げ、そして、東南アジアで 14 億人と世界一の人口を抱える巨大市場の中国での販売を計画しています。



酒の発酵樽



酒の調合機器



開発メンバー

#### 具体的な取組内容

令和 6 年 4 月に今治市の酒蔵、中国の飲食市場を熟知している商社と弊社で、中国市場に適合した日本酒の販売事業の検討を開始しました。

令和 6 年 5 月に中国の日本酒の市場動向を調査しました。

令和 6 年 7 月に中国市場に好まれる日本酒のイメージ創りを中国人シェフを交えて検討しました。

令和 6 年 8 月に中国市場を目指して日本酒を試作し、関係者で試飲をしました。

令和 6 年 12 月に中国市場を意識した日本酒の製法を確立しました。

令和 7 年 3 月に日本酒の仕込みをします。

#### 成 果

- ①中国での日本酒の市場動向を確認できました。
- ②中国の市場に適合し、環境負荷低減した日本酒造りの方法を開発しました。

計画通りに事業は進んでおり、現在、日本酒の仕込み用の原料を手配している段階なので、まだ成果はでていません。来期には成果を報告できます。

#### 担当者の思い

SDGs に積極的に取り組んでいることで、日本酒の蔵元が弊社の中国での日本酒の販売に興味を持ってくださいました。さらに、日本酒作りの SDGs の取組みを社内でも共有することで、社員の SDGs に対する意識が高まりました。自社の異分野の新規事業を通して地域社会に貢献しているという実感が得られ、モチベーションの向上にもつながっています。今後も、弊社にとってメリットとなる SDGs 活動を考え、目標の達成に貢献していきます。



〈新規事業 専務取締役 工学博士 幾島 賢治〉



## SDGs 達成に向けた取組み

# 交通安全マップを保育事業所に提供



### 目的・背景

- ・児童福祉法の改正により、保育所等については令和5年4月1日より安全に関する事項についての計画（以下「安全計画」）を各施設において策定することが義務化されました。
- ・安全計画では、「施設・設備の安全点検」として園外の散歩コース等の点検も盛り込まれており、保育事業者は園外活動における目的地や経路についての安全確認が求められています。
- ・一方で、安全確認のベースが施設職員の経験や感覚頼みであり、客観的な判断基準がないことが多いと推察されます。
- ・そこで、弊社に蓄積されている地球50万周以上の走行データを客観的な判断基準として提供し、役立てていただくことを目的としたのが本取組みであります。

### 具体的な取組内容

- ・弊社のテレマティクス技術を応用し、テレマティクス交通安全マップ作成を汎用化しました。  
\*交通安全マップとは、地図上に急ブレーキ頻度、交通量多寡をマッピングし、可視化したものです。  
GoogleMap上で、125m四方で区切られたエリアごとに急ブレーキ頻度と交通量多寡を色の濃さで一目で確認できるようにしたものです。（125mの他に、250m四方、500m四方でも表示できます）
- ・当マップを全保育事業所へ提供することを意図し標準化、「保育版交通安全マップ」として提供できるようにいたしました。（標準化＝保育事業所を中心とした半径700mで、125m四方で色分けされたマップ）
- ・弊社の包括連携協定先であります、伊予市、東温市に対し本取組みの目的をお伝えし、教育委員会を通じて市内全保育事業所に提供することを提案いたしました。  
→ 全保育事業所とは、市立、私立を問わず、幼稚園、保育園、保育所、認定こども園、認定外こども園、託児所

- ・両市とも採用いただき、伊予市は令和6年9月4日、東温市は同月25日にそれぞれ寄贈いたしました。  
（両市とも寄贈式を実施し、伊予市は市長へ、東温市は教育長へ手渡しいたしました）
- ・松山市へも同様に提案し、採用いただき令和7年2月5日に寄贈式を実施し副市長へ手渡しいたしました。

### 成 果

- ①東温市 19 施設、伊予市 16 施設、松山市 219 施設に寄贈  
市内全ての保育事業所に寄贈したことで、①危険箇所の確認と散歩経路の見直し、②職員間における認識共有、③保護者への情報共有に役立ったとの声をいただいています。これから寄贈の松山市は園バスを保有している保育事業所もあり、バスルートの見直し、昇降場所の見直し、ドライバーへの注意喚起にも役立つと考えています。

### 担当者の思い

弊社の自動車保険は事故のない社会を目指して開発されたものであり、本取組みはそこで得られた走行データを社会貢献に活用したものであります。少しでも事故低減に役立てたなら幸甚です。乳幼児の皆さんが悲惨な事故にあわないことを願い、取組みを継続してまいります。

〈愛媛支店 地域戦略室 担当課長 中井 恒夫〉





## SDGs 達成に向けた取組み

### 福利厚生充実



#### 目的・背景

当社は、社員にとって充実した職場環境を整えることが、社員一人ひとりの心身の健康と働きがいにつながり、それがひいては会社全体の成長にも寄与すると考えています。そのため、物心両面での豊かさを提供し、働きがいのある職場環境を整えるべく、福利厚生の充実を図りました。さらに、社員の健康維持を重要な課題と捉え、積極的に健康管理に取り組んでいます。

#### 具体的な取組内容

当社は、社員の健康管理を企業としての重要な責務と捉え、社員の健康意識を高めるためにさまざまな取組みを行っています。具体的には、健康増進手当の支給、インフルエンザ予防接種費用の全額負担、健康診断のオプション検査費用の会社負担などを実施しています。

特に、当社独自の健康増進手当は、残業時間が少ないほど高額支給される仕組みです。この手当の目的は、社員が余暇を充実させ、健康のための時間を確保すること、および休息を促進することです。例えば、月の残業時間が0時間の場合には2万円を支給するなど、残業時間に応じて段階的に手当が支給されます。もちろん、残業代は法定通り支給されるため、効率的に働きながら健康的な生活を維持することが可能です。

また、社員がより充実した生活を送れるよう、中小企業専用の福利厚生サービスの利用も開始しました。このサービスは、人材の獲得や定着を促進するとともに、組織全体の生産性向上につながることを目指しています。現在、社員に直接的な被害はありませんが、大雨による床上浸水などの災害が発生した場合に備え、住宅災害見舞金などの補償制度も整えており、万が一の際には社員とその家族を支える仕組みを提供しています。



健康管理推進会議の様子

#### 成 果

##### ①余暇の有効活用 ②生活の質向上 ③健康意識の高まり

これらの取組みにより、社員が余暇を有効活用する様子が多く見られています。例えば、「温泉や映画の割引券を家族と利用した」、「いちご狩りを孫と楽しんだ」といった具体的なエピソードが寄せられています。また、結婚記念祝金を活用して「普段と違う美味しいお酒を楽しんだ」という声もあり、福利厚生が社員の生活の質向上に確実に寄与していることが伺えます。

インフルエンザの予防接種については、計画的な案内と促進により、ほぼ全員が接種を完了しました。また、健康診断では付加検診を受診することで、社員の健康意識の向上につながっています。

このような支援を通じて、社員一人ひとりの健康維持と生活の質の向上が実現され、その結果、社員満足度の向上にも貢献しています。



健康意識を高めるための掲示物

#### 担当者の思い



余暇を充実させることで、社員一人ひとりの生活が豊かになり、仕事への意欲が向上しました。その結果、活き活きと働ける環境が整ったと感じています。福利厚生の充実が、余暇を楽しむことや働きやすさ、働きがいにもつながっています。SDGs（持続可能な開発目標）に取り組むことで、社員の健康維持や生活の質の向上が実現し、社会全体の持続可能な発展にも貢献していきたいと考えています。今後も、社員が心身ともに健康でいられるよう、予防接種や健康診断の助成制度をうまく活用し、体調管理にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

〈総務部 片上 裕佳〉



## SDGs 達成に向けた取組み

# 「食のサプライチェーン」を通じて SDGs の達成に向けて活動



### 目的・背景

食品卸売業として地域商材の販路拡大および商品開発時の支援など、食を通じて地域課題に取り組むことで地域への貢献を目標に活動しています。

### 具体的な取組内容

#### 令和6年7月

旭食品展示会「フーデム 2024」を神戸で開催。地域商品ブースとして愛媛県企業 15 社と愛媛県に出展いただきました。

#### 令和6年8月

スーパーのバイヤー業務（商品の試食・評価）並びに物流倉庫見学や商品流通について小学生に体験していただくこども職業体験会「こどもバイヤー」を株式会社セブンスター様と開催しました。

『石銚黒茶大福』を株式会社エフエム愛媛様と共同開発し県内のスーパーなどで販売しました。



#### 令和6年9月

株式会社エフエム愛媛様と共同開発の新品『瀬戸内鍋つゆ2種類【かたくち鰯とうま塩仕上げ青空編】・【牡蠣と米味噌仕上げ夕焼編】』を発売。また期間限定の『お四国鍋つゆ2種類【真鯛と柚子風味】・【阿波尾鶏と醤油風味】』を令和6年度も再販売しており、弊社を含む地域問屋3社で構成するトモシアグループの販売網で北海道から九州まで販路を拡大しています。



#### 令和6年10月

愛媛県内の地域商材の販路拡大を目的に愛媛県と『すご味商談会』を開催しました。



#### 令和7年2月

愛媛県と『すご味商談会』を開催予定です。

### 成 果

- 令和6年で3回目となるこども職業体験会「こどもバイヤー」を開催。小学生親子7組 14 名が参加。
- 令和3年から季節限定発売の『お四国鍋つゆ2種類』令和6年新発売の『瀬戸内鍋つゆ2種類』を 20,000 ケース製造、販売予定。
  - 「こどもバイヤー」は抽選で小学高学年の親子7組 14 名に参加いただき、メーカー担当者様による商品説明や商品の試食、商品がお店に並ぶまでを説明し、商品やその流通について子どもたちに興味を持ってもらうことやバイヤーの業務に関する知識の学習機会を提供できました。
  - 四国の商材を使用して商品開発を行うことで、地域の良い素材をより多くのお客様に知っていただき、生産者様・地域メーカー様の支援に貢献できたと思います。また、令和6年6月に株式会社エフエム愛媛様と『業務提携』を締結し、1次製品の需要開拓や新商品の開発、県産品の販路拡大に向けて取り組んでいます。
  - 令和6年6月に愛媛県と『包括連携協定』を締結し、県産品の販売促進等、地域活性化につながるよう取り組んでいます。

### 担当者の思い

「地域連携・未来志向の実現」「パートナーとの連携・協力で新プラットフォーム構築」といった弊社の令和6年度の経営方針のように、より地域に根差し、地域課題の解決に取り組む企業へと成長できているのではないかと思います。また、SDGsに取り組むことによって、社員が社会に貢献していると感じ、モチベーションの向上につながると感じます。

〈管理部管理課係長 安地 貴裕〉



## SDGs 達成に向けた取組み

# SDGs 視点のカーボンニュートラルへの挑戦・提案 (二酸化炭素森林吸収源からの J-クレジット登録・発行)



### 目的・背景

政府の「2050 カーボンニュートラル宣言」により、温室効果ガスの排出を 2050 年にゼロにすることを目指す中、「誰一人取り残さない四国中央 (宇摩) の森づくりを目指す!」をコンセプトとし、「森林文化の継承・持続可能な森林経営」を具現化し、持続可能な「ふるさとの山づくり」を進めることを山側の立場としての目的とし「植林・森林管理などによる温室効果ガスの吸収量」を見える化・数値化する活動に取り組み、地元製紙会社等に啓蒙・普及しております。

### 具体的な取組内容

#### ①脱炭素社会・アクション宣言

- (1) 登録名称 「2050 年 脱炭素社会・アクション宣言」
- (2) 日 時 令和 6 年 8 月 1 日
- (3) 内 容

主要会員である製紙会社とともに持続可能な社会を構築するために、各種講習会や勉強会等を通して、地産地消によりカーボンニュートラルの必要性を啓蒙するとともに、「林業をする」事自体が SDGs 活動であることを広く一般市民等に普及しています。



四国中央市カーボンニュートラル協議会員登録

#### ②市民土曜森林林業講座の開催

- (1) 日 時 令和 6 年 5 月 11 日
- (2) 場 所 宇摩森林組合及び現場
- (3) 内 容

当組合独自に、SDGs・カーボンニュートラル等、近年の社会情勢に鑑み、一般市民にも社会における森林林業の役割を周知するために、参加費無料で毎月第 1・第 3 土曜に講座を開講しています。

#### (4) 特筆すべき講座の回

令和 6 年 12 月 14 日 (土) に開催した講座では「水と森林 and 二酸化炭素と森林の関係」について、市民のリクエストにより、愛媛大学農学部准教授を招いて座学及び現地調査を開催しました。



市民土曜森林林業講座 座学の様子

#### ③森林由来の J-クレジットの登録申請

- (1) 日 時 令和 7 年 1 月 9 日
- (2) 場 所 農林水産省 林野庁
- (3) 内 容

J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や森林経営などの取組みによる二酸化炭素等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が承認する制度です。当組合は、本制度を活用してクレジットを創出し、また、創出されたクレジットの活用を通じ、地球温暖化対策への積極的な取組みの PR を行っています。



J-クレジット発行前の J-クレジット登録申請 妥当性確認検査状況

### 成 果

- ①気候変動に具体的な対策の温室効果ガス削減策が研究・試行され始めている。
- ②つくる責任・つかう責任を一般市民にも自覚してもらえた。
- ③陸の豊かさを守り、二酸化炭素の吸収源を社会全体で守るシステムが開始された。

例えば、市内の某高校のホームページには、学校方針に「国際的な視野に立ち…」そして、目標には「郷土を愛し、地域社会の発展に貢献する」とあります。次代を担う若人に対しても、森林の持つ高度な SDGs 普及啓発活動をする際には、各製造業者に、林業をすること自体が持続可能な国際的な開発目標の 17 目標のうち、実に 14 目標に関連がある事を、広く伝えることができたと自負しております。その成果の一つとして、来春の高校新卒者及び大学新卒者それぞれで 2 名が、宇摩森林組合の社会貢献に感銘いただき、就職してくれることとなっております。

現時点では、J-クレジットの発行前段階であるが、その営業先が市内に数ある紙産業大手 4 社にとどまっているので、今後とも SDGs の普及と森林林業の果たす役割を、地元の経済を支えている紙産業の中小企業主に対して、持続可能な社会の構築には、森林の持つポテンシャルが必要不可欠であることを、PR してまいりたいと考えています。

### 担当者の思い

「森林の SDGs 普及啓発活動」では、林業をすること自体が持続可能な国際的な開発目標 17 のうち 14 事項に関連する事を広くお伝えすることができたことと自負しておりますが、まだまだ足りません。

現在、J-クレジット営業先を市内紙産業超大手 4 社から始めていますが、今後は、地元紙産業中小企業主に対しても、持続可能な社会の構築には森林の持つポテンシャルが必要不可欠であることを、PR したいと考えています。

〈宇摩森林組合 常務理事 村上 尚哉〉





## SDGs 達成に向けた取組み

# 愛媛県産の品を使ったサステナブルな商品開発



### 目的・背景

愛媛県の人口減少は年々進んでいます。そんな中でも EC サイトを活かした販売にすることで、愛媛県産品としての商品 PR と多くの人に知ってもらうための販売ルートを作っていけるのではないかと思います。

オリジナル商品である URU シリーズは、通常は廃棄物となる柑橘の外皮を有効活用した商品で、愛媛県が柑橘王国である事も商品開発の始まりであり、また製造も愛媛県内の企業で行うことで、愛媛県産をしっかりとアピールできる商品となっています。赤ちゃんの柔肌から大人の敏感肌まで使用できるよう成分にもこだわっています。

これからも持続可能な社会を実現していくために情報発信と、より良い商品を作り続けていきたいと思っております。

### 保湿性に優れたいよかん果皮のエキス成分を配合した化粧品

## URU シリーズ

NM FIRM (エヌエム ファーム)

- 例えばこんな方におススメ
- 敏感肌・乾燥肌でお悩みの方
  - 赤ちゃんのための化粧品をお探しの方
  - エコな化粧品を使いたいと思っている方

乾燥肌で肌の弱い長女に合う保湿クリームが見つからず、なんとかかれないかと考えていた時に出会ったのが、マクシー [MaCSiE Iyo] でした。愛媛県・愛媛大学・愛媛製紙様の産官学連携で開発した保湿性に優れた「いよかん果皮高機能ペースト」で、通常は廃棄される柑橘の外皮を薬品を使わず機械的な力だけでペースト化したもので

す。URU 保湿クリームは、柑橘由来成分を有効活用して生まれた [MaCSiE Iyo] を使用した製品の第一号。成分の 98% が植物由来原料でできているので、赤ちゃんの柔肌から大人の乾燥肌まで優しく保湿できます。製造会社のアイテック様の協力を得、[MaCSiE Iyo] を使ったボディソープ、リンスインシャンプーもシリーズで開発しました。

#### 製造工程



### 具体的な取組内容

令和 6 年 4 月  
FM マルシェ (FM 愛媛 EC サイト) に登録しました。

令和 6 年 8 月  
愛媛県ふるさと納税返礼品に登録しました。

令和 6 年 9 月  
中国越境 EC 「豌豆公主 (ワンドウ)」に登録しました。

令和 6 年 11 月  
愛媛県 SDGs 推進企業に登録されました。

令和 6 年 11 月  
FM 愛媛主催「地産地消で愛媛を元気に！」エミフル MASAKI にてトークセッションに参加しました。

地産地消な商品開発の取組みを発信するという趣旨に賛同し、当日は [METAFISH PROJECT ~甦れ魚たち~] や松山大学「愛南マダイ応援隊」の学生さんたちと意見を交わしました。

お互いに意見を述べることで、改めて大切な事への気付きや、次につながるインスピレーションも湧いてきました。

また当社の商品開発の経緯や取組み (想い) を知ってもらい、参加者に地産地消や SDGs を伝えるととてもいい機会となりました。

### 成果

#### ① 本来廃棄される愛媛県産柑橘を利用した商品 PR の機会の増加

令和 6 年度は、イベントの参加や、新たに FM マルシェ、愛媛県ふるさと納税、中国越境 EC 「豌豆公主 (ワンドウ)」のサイトに商品を登録し、当社商品を PR できる機会を創出しました。

商品の販売にあたり FM 愛媛さんとの単独インタビューでは、URU シリーズの商品開発に至った経緯や取組みを取材していただきました。そこで改めて地産地消・SDGs の大切さへの気付きにつながり、愛媛県産品を利用した次の商品開発のインスピレーションも湧いてきています。

今後も、愛媛県産品を活かした SDGs な商品開発にどんどん取り組んでいきたいです。

### 担当者の思い

これからも環境に配慮した取組みや商品開発は必須だと感じています。

「未来ある子どもたちに自分ができる事は何か」そのことをしっかりと考えながら SDGs に貢献できるよう、個人としても事業所としても努力をし続けたいと思います。子どもたちが喜んで暮らしていける社会を作るためにも、SDGs の根本である持続可能な社会を作るためにも、これからもしっかりと情報発信をしていき、また取り組んでいきたいと思っております。

〈代表 松岡 弘二〉



## SDGs 達成に向けた取組み

### 園で出る牛乳パックや果物や野菜の皮のアップサイクル



#### 目的・背景

園では1週間に約40～50の牛乳や野菜ジュースのパックが空になり、子どもたちが工作に使ったり、リサイクルに回したりしています。令和5年度、依頼されて牛乳パックと野菜や果物の皮等をアップサイクルして、ネームホルダーを製作したところ、それを見た方から、大阪での学会でも使いたいと要望をいただき、令和6年度も子どもたちが放課後や夏休みに牛乳パックのアップサイクルに取り組むことになりました。園でSDGsに取り組んでいることを知った縫製工場の方からハギレをいただいたり、興味を持ってくださる大人が、一緒に取り組んでくださったりしたことで、子どもたちが思い浮かばなかったものも使って、アップサイクルすることができました。

#### 具体的な取組内容

##### 7月 ピンクと緑の紙と木枠づくり

青年海外協力隊の研修で伊予市を訪れていた方が、園のバザーに来てくださったのをきっかけに、一緒に紙漉きをすることになりました。伊予市特産のビワの葉とアボカドの皮を用意してくださり、紙を漉くと、どちらもピンクの紙ができました。児童クラブのおやつにスイカが出た日、皮を捨てる時に、「スイカの皮で紙を作ろう。」と子どもが思いつき、早速漉いてみると、きめの細かい、きれいな緑の紙ができました。「スイカの実でも作ってみようよ。」と、園庭でできたスイカで挑戦しましたが、いつまでたっても乾かず失敗に終わりました。大阪の大学に試作品を送ると、もう少しサイズを大きくしてほしいと要望があり、木枠を作り直しました。

##### 8月 ナスとシソジュースの色の紙

「紫の紙が作りたいから、ナスの皮を入れてみよう。」と言った子どもがいて、早速入れてみました。紫の紙にはなりませんが、紫がかった黒い粒々が素敵な紙ができました。「おばあちゃんが作ってくれるシソジュースの色の紙ができたらいいのに。」と取り組み、「おばあちゃんはクエン酸を入れるけどレモンではどうか。」など試行錯誤の末、9月中旬には、縁にシソジュースの色が感じられる紙ができました。

##### 9月 ミカンの葉とコットン入りの紙 ネームホルダー製作 発送

ミカンの葉を入れたり、縫製工場からいただいたハギレを入れたりして、紙漉きを続けました。自分たちで漉いた紙でネームホルダーを製作、紐を通して、大阪の大学に発送しました。

##### 10月 クリスマスマーケットに向けて紙製品のデザイン

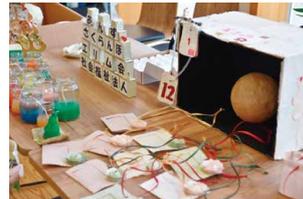
5日にエミフルMASAKIで行われた「愛媛の3Rフェア」を見学してヒントを得て、新聞紙のエコバッグに手漉き紙を貼ったり、手漉き紙で作った花をつけたりするデザインを考えました。ネームホルダーを作る際の不要になった紙を使って、単語カードも作りしました。

##### 11月 紙製品の製作

児童クラブでは宿題の後、製作をしたい子どもが集まっていたりいろいろな紙製品を製作しました。紙が足りなくなったので、紙漉きも追加で行いました。

##### 12月 愛媛大学 SDGs クリスマスマーケットに出店

子どもたちがアップサイクルした手漉き紙製品をクリスマスマーケットに並べて、どのように取り組んだか説明しながら販売しました。新聞紙の紙袋に手漉き紙の花を自由につけるワークショップが好評でした。



クリスマスマーケットの手漉き紙製品



さくら幼稚園の子どもも手伝ったよ



愛媛大学 SDGs クリスマスマーケットに出店



大阪の大学に送ったネームホルダー

#### 成 果

- ① SDGsの活動に興味を持ってくださる大人の方々と交流を持ち、思いを伝えて尊重される経験をした。
- ② 牛乳パックを子どもたちのアイデアで素敵にアップサイクルできた。
- ③ 放課後や長期休みに、子どもたちが主体的にアップサイクルに取り組めた。

周りの大人が、子どもの権利や育ちに関心を持ってくださっていて、子どもに温かく関わってくださり、子どもの発言を尊重していただきました。子どもの心を育てることにつながったと思います。

また、園でたくさん出る牛乳パックや野菜の皮などに子どもたちのアイデアが加わると、こんな素敵な製品と楽しさが生まれることを実際に体験できました。また、令和5年からずっと続けていることで、大阪の方にも知っていただきました。ラジオの取材に、2年生の男の子が「遠くの方からも注文が来て、喜んでもらえたのがうれしい。」また、「どうして紙でネームホルダーを作っているのですか。」と聞かれ、4年生の女の子が「プラスチックだと赤ちゃんを抱っこした時に顔に傷がつくでしょう。紙なら柔らかいから大丈夫だから。」と答えました。使う人のことを考えて作っていたことに驚きました。

放課後や長期休みに子どもたちが主体的に考え、アイデアを出し、仲間と協力して取り組めたことが成果です。

#### 担当者の思い

今回のアップサイクルの取組みは、実際にネームホルダーを注文され、製作するという経験、手作り紙製品をクリスマスマーケットで販売する経験（つくる責任）を子どもたちと経験できたことが良かったと思います。今後も継続して、子どもたちが、今の世界の現状に変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力を身につけられるように、SDGsに取り組んでいきたいと思っています。（さくら幼稚園園長 桑波田 みか）

# 株式会社大石工作所



代表者 / 代表取締役 大石 憲一  
業 種 / 製造業  
所在地 / 愛媛県新居浜市多喜浜 6 丁目 2 番 45 号  
連絡先 / 0897-46-1160  
U R L / <http://ois.gr.jp/>

## SDGs 達成に向けた取組み

### 住み続けられるまちづくりを目指す、インターンシップ&オープンファクトリー



#### 目的・背景

地域に根ざした持続可能なまちづくりを目指し、ものづくりの楽しさや地場産業の魅力を広めるとともに、SDGs に関連した学びの場を提供しています。地域の地場産業は、技術や価値観の次世代継承が課題となっています。この課題解決に向け、インターンシップやオープンファクトリーを通じて実践的な体験の機会を提供し、ものづくりの技術や地場産業の魅力を伝えたいと考えています。また、SDGs と地場産業をテーマにした、インターンシップやオープンファクトリーを開催することで、若い世代や地域住民からの関心を高め、地域全体の持続可能性を向上させることを目指しています。

#### 具体的な取組内容

##### インターンシップ

中学生から大学生までを対象として、ものづくりの楽しさや、地場産業への理解を深めることで、将来的な地域社会の活性化を目的に受け入れを行っています。廃材を利用した工作物の作成や、自社設備で給電された電気自動車で拠点間を送迎など、就業体験と SDGs を絡めて、弊社での実践例を体感してもらえるプログラムを提供しています。



愛媛大学学生インターンシップ	1/12	1名
新居浜産業技術専門学校インターンシップ	1/15～1/19	1名
新居浜商業高等学校インターンシップ	2/6～2/8	4名
愛媛大学学生インターンシップ	1/22	1名
聖カタリナ大学インターンシップ	3/12	1名
松山大学学生インターンシップ	3/25～3/27	1名
川東中学校 U-15 ジョブチャレンジ	7/3～7/5、 8/22～8/23	3名
新居浜工業高等専門学校プラントメンテナンス課程	8/26～8/29	1名
愛媛大学学生インターンシップ	8/27、 9/17～20	1名
新居浜工業高等専門学校インターンシップ	9/2～9/5	2名
新居浜工業高等学校インターンシップ	11/25～11/29	3名

##### オープンファクトリー

学生や一般の方を含め、幅広くオープンファクトリーを実施しています。一般の方が普段立ち入ることのできないプラントや企業の SDGs の取組みをより身近に感じてもらうことをテーマに実施しています。工場敷地内にはプラント内で実際に稼働していた機器を再利用した公園でプラントの構造を疑似体験することができます。



##### Oishi Park

地域振興イベント「えひめさんさん物語」で、彫刻家の柳原絵夢氏と社員のアイデアによって創り出された、プラントをモチーフにした公園が工場敷地内にあります。プラントで実際に稼働していた機器を再利用しているため、オー



ンファクトリー・インターンシップの際には学生にプラントの構造や、限られた資源を再利用する一例として紹介しています。

愛媛大学学生	5/24	1名
新居浜工業高等学校環境化学科 1 年生	5/24	27名
児童放課後等デイサービス Line	6/22	20名
多喜浜小学校放課後子ども教室ボンデン広場	7/30	45名
新居浜産業技術専門学校	8/24	12名
新居浜工業高等専門学校	9/6	2名
四国経済産業局メディア向けオープンファクトリー	10/3	23名
新居浜工業高等学校電子機械科 1 年生	10/22	37名
新居浜工業高等学校機械科 1 年生	11/19	32名
川東中学校 1 年生	11/29	20名

##### 出張講義

事業所内だけでなく、新居浜市認定の「新居浜ものづくりマイスター」を派遣した外部への出張講座も実施しています。

新居浜工業高等専門学校機械工学科 3 年生	11/8	42名
-----------------------	------	-----

#### 成 果

- ①参加者ごとに内容を変えたインターンシップを開催することで、計 19 名の学生が就業体験を行いました。
- ②オープンファクトリーの開催により、計 219 名の方へ、SDGs の取組みや地場産業の魅力を発信しました。
- ③新居浜ものづくりマイスターが登壇する出張講座にて計 42 名の高専生に講義を実施しました。

地域に根ざした持続可能なまちづくりを目指し、ものづくりの楽しさや地場産業の魅力を広めるため、インターンシップ、オープンファクトリー、出張講座を実施しました。インターンシップでは、学生の目的や関心に応じて自由にカスタマイズした就業体験を提供することができました。事前に打ち合わせを行うことで、参加者一人ひとりに最適な体験を設計することを意識しました。オープンファクトリーでは、地域住民や企業内の多様な部署が連携し、地域一体となってイベントを開催しました。製造現場の魅力を発信するとともに、交流を促進しました。また、出張講座では「新居浜ものづくりマイスター」が現場で培った技術や経験を学生に伝えることができました。これらの取組みを通して、次世代への技術継承、地域の活性化、そして SDGs 達成に向けた意識啓発を推進し、住み続けられるまちづくりに貢献しています。

#### 担当者の思い

本取組みでは、SDGs 担当者だけでなく、社内の様々な部署と連携しながら、持続可能な活動を推進していきます。インターンシップやオープンファクトリー、出張講座など、多様なプログラムを通じて地域住民や若い世代と交流し、取組みの紹介や地域が抱える課題の共有を行うことができました。令和 7 年度以降も、地域社会と協力しながらさらなる発展を目指し、SDGs の達成に向けて継続的な活動を展開していきたいと考えています。  
(総務部 担当 嶋田 聡・安宅 悠基)



## SDGs 達成に向けた取組み

### 電気自動車導入を通して SDGs を考える



#### 目的・背景

SDGs 宣言をするにあたり、エネルギー（燃料費高騰）に関する取組みについて社内の意識統一を図りたいと考え、社員及び社外にも PR するために電気自動車の導入を考えました。社員が電気自動車を利用する機会があれば、電気自動車の性能を実感、またグリーンエネルギーを自分が利用しているという意識を身に付けることにより、益々 SDGs に興味を持って、SDGs に自分も参加しているという自信が持てると思われました。

#### 具体的な取組内容

営業活動をするにあたり、日々の移動手段として車が欠かせず燃料費（ガソリン代）の削減は大きな目標でした。そのためまずは令和6年2月に、営業車に電気自動車を導入しました。市内での営業活動をする際に、特にその日に移動が多そうな社員が電気自動車を利用するというルールで従業員が日替わりで電気自動車を利用してみました。最初は電気自動車の性能に疑問を持っていた社員も、何度も利用するうちに1日乗っていてもガソリン車と遜色ない、いやそれ以上の性能に大変満足そうでした。仕事終わりに充電をして帰るだけでよいので、途中でガソリンを入れる手間が省けるのも助かると言っていました。また災害時給電設備として活用できるため、台風や地震などの災害時に停電が発生した場合には社員や周辺の避難者の非常用電源として活用することができることから、どのように、またどこだけ給電設備として使えるのかも実際試してみることができました。このような経験をすることにより、災害におけるボランティアについても各自が考えるきっかけになりました。

#### 成 果

- ①ガソリン代が年間約 20 万円削減できた。
- ②非常用電源として実際に使用する体験ができた。
- ③ SDGs に対する社員の意識の変化。

大きな目標としていた燃料費の削減については、弊社にとっては大きな成果が出たと感じています。また災害時の非常用電源としても利用できることを実感できたことから、社員からは「いざという時の安心感が増した」という意見もありました。社員が安心して働くことのできる環境を作り出したこともよかったですと感じます。そして何より、SDGs という横文字に二の足を踏んでいた社員にとって、自分も簡単に参加することができるのだということを知り、SDGs に大変興味を持ってもらうことができました。

#### 担当者の思い

SDGs の取組みを言葉で説明してもなかなか簡単に理解しきれていなかったようですが、実際に SDGs の取組みを実感・目の当たりにすることで興味を持ってくれたことは大変よかったですと感じています。燃料費の削減一つをとっても CO<sub>2</sub> 排出量削減につながり、電気自動車を通して災害発生時には電気供給ボランティアとして活躍できるなど、多岐にわたって SDGs に取り組めることを認識することができました。

〈代表取締役 加藤 和将〉





## SDGs 達成に向けた取組み

- ① 高度小児医療施設に隣接する滞在施設 (ドナルド・マクドナルド・ハウス) の支援
- ② 外国人・障害者雇用促進



### 目的・背景

- ① 「ドナルド・マクドナルド・ハウス」(以下略 DMH 公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営する高度小児医療施設に隣接する宿泊滞在施設)で病氣と闘う子どもとその家族の支援 (SDGs の基本理念 3 「すべての人に健康と福祉を」)を通じて、共に助け合う社会 (17 「パートナーシップで目標を達成しよう」) を目指したチャリティ文化の醸成と、“病氣の子どもとその家族を笑顔にする活動”に取り組んでいます。
- ② 新規雇用促進・ダイバーシティの雇用促進 (8 「働きがいも経済成長も」)に取り組んでいます。

### 具体的な取組内容

- ① 10月20日を青いマックの日と称し、県内法人8店舗同様の取組みとして、当日店舗にお越しいただくお客様へのDMHの周知活動及び募金活動を実施しました。
    - ・周知活動では、例年同様 (平成29年より) 店舗に来店いただいたお客様のご協力により、病氣と闘う子どもとそのご家族への応援のメッセージをいただきました。
    - ・募金活動では、店舗にご来店のお客様・ショッピングモールフードコート内による募金箱への募金、モバイルオーダーによるネット募金、事前に配布していたミニ募金箱の回収やハッピーセット (お子様向けミールセット) 購買訴求により売上の一部 (1セットにつき50円) がドナルド・マクドナルド・ハウスへ寄付されています。
- 10月の1ヶ月間を強化月間とし活動しましたが、周知活動、募金活動は継続して通年でを行っています。



- ② ダイバーシティの雇用促進については、外国人雇用や障害者雇用、高齢者雇用等、幅広い属性の従業員雇用をしています。

### 成 果

- ① 青いマックの日当日法人店頭での募金額 ¥159,016 のご協力をいただきました。
- ② 新規雇用 196 名の採用・外国人雇用 20 名の実働。
  - ① 法人店頭での募金活動だけでなく、認知や活動も広がってきて、たくさんの方に協力をいただきました。3 「すべての人に健康と福祉を」を目的とした取組みでしたが、地域の方に支えられて活性化したことで、17 「パートナーシップで目標を達成しよう」にも大いに貢献できました。
  - ② 新規採用 (社員・アルバイト・パートを含めた雇用形態) 196 名、近隣の専門学校在籍の外国人留学生等、障害者・高齢者の雇用もあり、活躍していただいています。8 「働きがいも経済成長も」、17 「パートナーシップで目標を達成しよう」につながりました。

### 担当者の思い



社会でSDGsへの認知が広がってきたと同時に、一過性のもではなく、ゴールに向かっての従業員の核となる想い、行動のひとつひとつが繋がっていることを感じています。

募金からのスタートでしたが、認知活動が広がり、地域の皆様との関わりや新規採用者のトレーニングなど、マクドナルドが礎としているピープルビジネスと相重なり、企業としてもさらなる飛躍ができるよう今後も取り組んでまいります。

〈店長 枇杷田 真弓〉

# 株式会社建設マネジメント四国 松山営業所



代表者 / 営業所長 兵頭 英人  
業 種 / 土木関係建設コンサルタント、補償関係コンサルタント  
所在地 / 愛媛県松山市土居田町 53 番地 1  
連絡先 / 089-994-5531  
U R L / <https://www.cm-shikoku.co.jp/>

## SDGs 達成に向けた取組み

### クローズドマートの全社導入について



#### 目的・背景

弊社は、令和 4 年 3 月、愛媛県 SDGs 推進企業登録制度により、推進企業として登録されました。これまで、SDGs の取組みとして、各方面で活躍している団体への寄付、ボランティアサポートプログラム協定に基づく道路清掃をはじめとする道路及び河川の清掃活動、EV 車の導入、紙からのデジタルシフト等を行うとともに、SDGs 初級者講習も実施してきました。しかしながら、社員一人ひとりを見れば、SDGs への取組みを行っているとの実感に乏しく、実感できる取組みを模索していたところ、クローズドマートの制度を知り、導入することとしました。



#### 具体的な取組内容

令和 6 年 11 月 8 日（金）開催の「愛媛県中小企業向け SDGs セミナー」の案内通知を受けた際、プログラムに「クローズドマートによる企業・従業員参加型の SDGs 推進」という項目があり、「ロス削減」、「社会貢献」につながる制度と知り、セミナーを受講しました。

「クローズドマート」は、(株)ファーストクラスが運営する EC サイトで、賞味期限の短い訳あり商品や型落ちした在庫商品、ブランド維持のため廃棄される商品などの販売を職域に限定して、安価に提供する社会貢献型福利厚生制度であることが分かりました。また、利用するに当たっては、費用が一切からならないという魅力でした。愛媛県では、(株)ファーストクラスと「クローズドマート」の利用に関する協定を令和 6 年 9 月 26 日に締結し、通常、100 名以上の従業員規模の企業に利用が限定されているところ、「愛媛県 SDGs 推進企業」に登録された企業では、従業員規模に関わらず利用可能となっており、約 60 人規模の当営業所でも制度が利用できるというものでした。

「クローズドマート」を利用する企業・団体は約 700 法人で利用者数は約 230 万人にのぼり、従業員の福利厚生制度として導入している企業が多数あります。しかし、「クローズドマート」の最大の魅力は、従業員一人ひとりが商品を購入するだけで、社会貢献につながっているということです。企業としての各種取組みはあるものの、従業員一人ひとりが実感できる SDGs の取組みは少なく、「クローズドマート」での商品購入そのものが「食品ロス」や「廃棄物削減」、「二酸化炭素排出削減」等につながり、無理のない SDGs の取組みとなっています。また、商品売上げの一部がプラン・インターナショナルに寄付され、世界の子どもとりわけ女の子を中心に、権利、福祉、教育の

支援や不平等の解消等に役立っています。さらに商品購入額の 3% が愛媛県に寄付され、愛媛県の社会的課題の解消に活かされています。このように、商品購入が日本国内での社会貢献に留まらず、一部が国際 NGO に寄付され、世界の中で支援を必要としている子ども達の生活向上にも充てられています。

こうしたことを踏まえ、松山営業所では、「愛媛県 SDGs 推進登録企業」として、社員等参加型の SDGs 推進及び福利厚生制度の充実を目的に、令和 6 年 11 月 21 日に「クローズドマート」の利用を開始しました。また、同様の制度がある徳島県でも、徳島営業所が令和 6 年 11 月 22 日から、さらには、弊社のアクションプランにおいて、SDGs 推進を掲げていることから、別途手続きを経て、令和 6 年 12 月 2 日から、四国内の本社及び各営業所全てで「クローズドマート」を利用できるようになりました。

#### 成果

①松山営業所では、21 名が登録し、7 名が購入（1 人で複数購入を含む。）し、社会貢献に寄与。

弊社では、他にも福利厚生制度があり、割引のある商品を購入することはできませんが、「クローズドマート」ではより割引率の高い商品が多数あり、興味を持つ社員がおり、社員登録している状況です。また、購入が SDGs につながる点でも、単に商品を購入するというだけでなく、世界につながる社会貢献ができるという側面から、社員登録する者もいます。また、個々の社員は、企業活動の中で SDGs に取り組んでいるとの実感はあまり感じていないと思われそうですが、「クローズドマート」を利用することで、社会貢献に寄与するとの意識が高まったように思われます。

このように、社員等には、少しでも SDGs に関心を持ち、持続可能な社会実現のため、自分自身の身の回りで手軽に実践できる活動に参加することを期待しています。

#### 担当者の思い

今、企業では SDGs 推進は、当たり前であり、各社とも独自の取組みをセールスポイントとし、人材確保においてもより重要な施策となっています。一方、社員一人ひとりの意識の中では、企業の SDGs の取組みについての実感が少ないように思われます。そうしたことから、愛媛県より紹介のあった「クローズドマート」が有効な手段になるのではとの思いや福利厚生の充実が図られるという要素もあり、本社に導入の可否を相談したところ、非常にいい取組みだということで、早々に全社的導入が決定しました。今後は、社員の SDGs 推進へのさらなる意識向上につながればと願っています。〈副所長 山田 久男〉





## SDGs 達成に向けた取組み

## 地元雇用の継続的実現と、公正かつ社員成長を促進する評価制度の構築・運用



### 目的・背景

社員の高齢化が進み、地元人口も減少する中で、企業の持続的な成長を実現するためには、まず「若手人材の採用」が必要不可欠であると考え、未経験中途社員や高卒新卒社員の採用を令和2年より本格的にスタートしました。

その後、採用の応募が増えていき令和3年～令和6年の間に中途採用、大卒、高卒から6名が入社しました。全員離職することなく今も仕事を続けてもらっています。また長年悩みであった「評価制度」の本格的な再構築を実施し、会社が社員を評価するだけの評価制度ではなく、「社員が意欲的に働けるような目標を定め、個々の成長を促進する」評価制度の構築と運用を開始しました。

### 具体的な取組内容

採用に関しては、令和3年に自社独自のリクルートサイトを立ち上げました。大手採用媒体を活用するだけでなく、SNS等を駆使して、業界・仕事・会社の特徴・強み・働きがい・働きやすさ等に訴求した求人情報を公開しました。

同時期に、過去取り組んでいた「高卒新卒採用」についても、方法を一新しました。業界・仕事・会社のことを、地元高校の先生や生徒の皆さんにも、わかりやすく伝わるようなパンフレット・チラシ・独自イベントを企画・制作し、地元高校に定期的に訪問・面談・イベントを実施しました。それだけではなく、たくさんの若い人に電気工事を知ってもらいたいと思い、Instagram投稿を開始しました。現在まで社内イベント、研修旅行や電気工事の現場風景を投稿し、若い人だけでなく、様々な方に見ていただき、反響を得ています。



新居浜工業高校での企業説明会

評価制度については、まず賃金の見直しを実施しました。手当制度を改定し、資格取得に応じて手当を増やしました。これにより資格取得の促進がなされ、新たに入社した社員はそれぞれ、第二種電気工事士、第一種電気工事士、2級電気施工管理技士の資格をこの3年間で取得しました。そして、会社の実情や社員の希望や想いをヒアリング調査した上で、社員成長を促す新評価制度を令和4年6月に構築・同年7月から運用を開始しました。現在も改良を重ねながら運用を続けています。

### 成果

- ①中途採用及び新卒採用が増えた。
- ②新しい評価制度運用後、アンケート調査をしたところ社員の満足度が上がった。
- ③令和3年から取組みを始め、現在まで応募が多数あり6名を採用しました。Indeedだけでなく、インスタグラムを見ました、採用サイトを見ました、という声があり、取組みの実感を受けました。それだけでなく新入社員との親睦会、3カ月に1度の新人研修会、また社内全体でのハラスメント研修、well-being研修、先輩から技術を学びやすい社内環境を整え、実施しました。このことが離職率の低下の要因ではないかと考えています。



コミュニケーション研修

- ④新しい評価制度が始まり、改良を重ね運用していますが、年に1度社員全員にアンケートを実施しています。「自分の仕事が適切な評価を受け、認められている」という項目は上昇しました。それだけではなく、社内の雰囲気、上司との話しやすさ、福利厚生などの満足度が上昇しました。



社内アンケート

### 担当者の思い

光和電機は電気工事を通して、お客様に喜んでいただけるよう、技術を磨き続けています。また働く社員一人ひとりがやりがいをもって、日々仕事に取り組めるようにも社内環境を整え続けていきたいと考えています。今回この取組みを通して、社内に新しい風が吹いたと思います。職場の雰囲気も前よりよくなったと実感しています。これからもお客様のため、地域のため、働く社員の幸せのために尽力していきたいと考えています。〈代表取締役 石川 豊和〉



## SDGs 達成に向けた取組み

### 海ごみ削減に向けた取組み



#### 目的・背景

未来につなげる豊かな海を守るため、海ごみ回収など行いました。海ごみ回収をシーカヤックで行い、自然と直接触れることで環境問題に当事者意識がより高まり、海ごみ問題解決に向けた取組みになると思い、事業を実施しています。また、食を育む地方の産業を知ってもらうことで、豊かな食を未来につなげることに貢献できたらと思ひ、養殖現場の見学なども実施しました。



シーカヤックでの海ごみ清掃



#### 具体的な取組内容

- 2月4日 呉海岸海ごみ掃除参加
- 2月23日 岡山海ごみフォーラム出展
- 4月24日 宇和島東高校  
シーカヤック海ごみ掃除実施
- 6月25日 ANAグループ社員・ライブコマーサー  
シーカヤック海ごみ掃除・漁場見学実施
- 8月12日 兵庫県家族（5名）  
シーカヤック海ごみ掃除・漁場見学実施
- 9月3日 愛媛大学  
シーカヤック海ごみ掃除・漁場見学実施
- 9月11日 人間環境大学  
シーカヤック海ごみ掃除・漁場見学実施
- 9月21日～23日 宇和島エシカルプロジェクト（県内外中学・高校・大学）  
シーカヤック海ごみ掃除・地域体験受け入れ
- 9月24日 愛媛大学  
漁場見学実施
- 7月10日・10月20日 埼玉高校生修学旅行  
シーカヤック海ごみ掃除実施

#### 成 果

- ①海ごみの現状を直接に伝えることができた。
- ②合計 50 名ほどが参加していただき、地方・環境に配慮することの重要性を普及。
- ③県内外の関係・交流人口の増加につながった。

シーカヤックで自然と触れ合いながら、リアルな現場（海ごみ・地方の暮らしなど）を体感することで、宇和島の自然環境知識・水産業知識の習得、地域づくりを考える機会ができ、学生・社会人としての経験として、持続的な未来を目指す上で学びを得ることができたのではないかと思います。また、多様な関係者との交流・関係が生まれ、豊かな海を守り続けることや経済活動の活性化・新しい考え方や価値を生み出すことなど、地域活性化につながっていく取組みにもなったと思います。

#### 担当者の思い

実際に自分が主となって事業を行うことで環境に対する意識の向上につながるとともに、第三者目線で見る地方の良いところ・悪いところを知ることができました。また、若者世代との交流の輪が広がり自社の認知度アップ・今後の事業の役に立てるのではないかと思います。

〈営業部長 高木 元〉

# 株式会社古湧園 (ホテル古湧園遥)



代表者 / 代表取締役社長 新山 富左衛門  
業 種 / 宿泊業・旅行業・土産物産品小売業・通信販売・食堂の委託運営  
所在地 / 愛媛県松山市道後湯之町 20-23  
連絡先 / 089-945-5911  
U R L / <https://www.kowakuen.com/>

## SDGs 達成に向けた取組み

## 人と環境にやさしい宿として、持続可能な開発目標の達成



### 目的・背景

建物の運用段階でのエネルギー消費量を限りなくゼロにする「ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）」の認証を、愛媛で初めて取得した環境配慮型ホテルとして、環境に配慮しつつ、温泉はもとより、癒しを高める多彩な客室や絶景の露天風呂、地元でしか味わえない郷土料理、夜のロビー・ライブコンサートなど、五感で体験するおもてなしを提供。あわせて、周辺の企業・施設や地域とともにコラボイベントやサービスを展開し、道後を訪れる内外からの観光客の滞在日数の延長と滞在中の周辺地域への周遊を促します。

### 具体的な取組内容

- ・ <令和5年3月から継続> ホテルロビーにて「愛媛のスゴ者、大集結！我こそは！7人の達人」で、地場産業の名人やアーティストなどを、その代表作とともに展示。ホテル滞在客に紹介している。



愛媛のスゴ者ロビーディスプレイ

- ・ 令和6年3月、再エネ100宣言 RE Action を達成するための取組みとして、ホテル敷地内の擁壁（ようへき）に、太陽光パネルを設置し稼働を開始。また、地震や豪雨災害の発生による停電事故に対応するため、蓄電池を設置し、足湯カフェ坊っちゃん内に、道後温泉に観光でお見えになった旅行者、また近隣の住民の方々の一時的避難場所の照明・携帯電話の充電等を確保している。
- ・ 令和6年9月、レストランでの地産地消、旬の料理を提供する取組みの一貫として、「愛媛の魅力発見・里山の自然と食を体験するコラボ企画」の実施。  
また、愛媛の酒蔵とのコラボによる「日本酒飲み比べ」メニューや利き酒の展開。
- ・ 道後滞在客の街めぐりを促進するための「道後坊っちゃんひろば」でのキッチンカーやイベントの企画・実施。
- ・ 令和6年8月、令和6年度3R体験ツアーの東予コースの見学施設として、ZEB 関連施設を中心に現地案内した。

### 成果

- ① 窪野米を購入し、「しおにぎり」とともに期間中レストランで提供（愛媛の魅力発見・里山の自然と食を体験するコラボ企画）。
- ② 初年度として、3か所（桜うづまき、首藤酒造、梅美人）を実施（日本酒飲み比べ）。
- ③ 初年度、キッチンカーの出店およびイベントの開催：83件の実施。

- ・ ご利用者に愛媛の里山について告知するとともに、アンケートを実施し、好評をいただいた。
- ・ 愛媛でしか味わえない料理とともに、地酒飲み比べを楽しんでいただいた。祝・日本の「伝統的造り」ユネスコの無形文化遺産に登録！
- ・ 出店舗、利用客ともに、リピーターあり。



窪野米おにぎり



3種飲み比べ

### 担当者の思い

ホテル古湧園遥は、令和6年10月に「人と環境にやさしいホテル」としてリニューアルから5周年を迎え、お客様が安心してつろぎの時空間を体験できるおもてなしをめざしてまいりました。おかげさまで、利用者のアンケートにて高評価をいただき、販売部門とあわせて、内外から多くのお客様をお迎えしています。これからも、持続可能な経済と地域再生のために、様々な取組みに挑戦してまいります。  
(ホテル古湧園遥 営業部企画広報課 課長 真鍋 こずえ)

# 社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山病院



代表者 / 院長 宮岡 弘明  
業 種 / 医療  
所在地 / 愛媛県松山市山西町 880-2  
連絡先 / 089-951-6111  
U R L / <http://db.matsuyama.saiseikai.or.jp/>

## SDGs 達成に向けた取組み

### 地域清掃活動



#### 目的・背景

職員 3 名の提案により地域清掃活動を開始し、約 3 年間清掃活動を行っています。現在では 18 名の有志スタッフが参加しています。

「ゴミの少ない街づくりをしたい」

「SDGs 活動に取り組んでみたい」

「海洋ゴミ削減に取り組みたい」

「地域の方々とコミュニケーションを取りたい」

「職員とコミュニケーションを取りたい」

など、参加する職員それぞれがそれぞれの思いを持って清掃活動に参加しています。

#### 具体的な取組内容

令和 3 年 7 月より 3 名から地域清掃活動を開始。現在は 18 名のスタッフが有志メンバーとなり清掃活動を行っています。清掃活動の開催は不定期で、「できる人ができる時に活動する」をモットーとすることで、活動開始より約 3 年間、細く長く活動を行うことができました。

また、当院が三津浜花火大会の開催地の近隣ということもあり、令和 5 年より「花火大会のあとしまつ」と題し三津浜花火大会の翌日に普段より清掃範囲を広げた清掃活動も行っています。

#### (令和 6 年度の活動実績・11 月時点)

4/6 (土) AM6:30 ~ AM7:30

5/11 (土) AM6:30 ~ AM7:30

5/18 (土) AM6:30 ~ AM7:30

7/6 (土) AM6:30 ~ AM7:30

8/4 (日) AM6:30 ~ AM7:30 (三津浜花火大会翌日)

9/21 (土) AM6:30 ~ AM7:30

11/30 (土) AM6:30 ~ AM7:30



#### 成 果

##### ①定期的な清掃活動の実施

##### ②三津浜花火大会翌日に普段の清掃活動の範囲を広げた清掃活動

- ・地域内で公園美化清掃に取り組まれている団体から「最近よく見かけるけど、どこの方々?」「地域をきれいにしてくれてありがとう」と声をかけられるようになってきました。
- ・普段の参加者は 3 ~ 5 名程度ですが、8 月の花火大会後のゴミ拾い活動では、職場内の掲示板を使用して広報したところ 14 名の参加者があり、まだまだ興味のある方は多く、意識の高さを感じられました。
- ・令和 5 年度はゴミ拾いの活動を評価され「済生会松山病院院長賞」を受賞し、令和 6 年も続けようという参加者のモチベーション向上につながっています。



#### 担当者の思い

コロナ禍の中、何か地域や職場のためにできることはないかと考え、同僚と共に職場周辺のゴミ拾いを始めました。当初は単なる清掃活動でしたが、参加者同士のコミュニケーションや健康的な朝活としての効果も生まれ、継続する意欲につながっています。また、地域住民から「いつもきれいにしてくれてありがとう」などの声をいただき、認知度が高まっていることも大きな励みとなっています。今後はこのゴミ拾いと健康相談啓発イベントや職業相談などを同時開催にして、より地域に貢献できる活動へと広げていきたいと考えています。小さな一歩から始まった活動ですが、地域と共に成長する取組みとして引き続き進めていきたいと思っております。

〈リハビリテーションセンター 作業療法士 中村 匡秀〉



## SDGs 達成に向けた取組み

# 従業員に寄り添った快適な職場づくり



### 目的・背景

当社では従業員が子どもの成長やケアに関わる時間を確保できるよう、柔軟な休暇取得を可能にしています。育児と仕事の両立が多くの家庭にとって課題となっており、特に育児を担う従業員が柔軟に働ける環境が不足していると離職や労働生産性の低下につながります。そこで従業員に寄り添った制度を導入し、働きやすい職場づくりを目指して多様な働き方を支援しています。

### 具体的な取組内容

当社は育児目的の休暇を独自の制度で設けており、18歳以下の子を扶養している対象者に子1人なら年に3日、2人以上なら5日間取得できるようにしています。

#### 【育児目的休暇の制度化】

子どもの健康診断、予防接種、学校行事、緊急時の対応など、育児に関する幅広い目的で休暇を取得可能にしました。休暇は有休とは別に特別休暇として提供し、年間で一定日数利用できる仕組みを整えることで、柔軟な働き方を推進しています。

#### 【職場での啓発活動】

育児目的休暇の意義を社内で共有し、利用しやすい職場文化を醸成し、対象者だけでなく従業員一人ひとりに休暇の取得促進を図りました。

#### 【サポート体制の充実】

制度に関する相談窓口を設置し、従業員が気軽に問い合わせや申請ができるようにしています。育児と仕事の両立を会社がサポートすることにより、従業員が安心して働きながら育児に専念できる職場環境を実現しています。

### 成 果

#### ① 制度の周知徹底 ② 上司の理解促進

18歳未満の子どもを持つ対象者が、育児目的休暇を利用可能とした結果、育児と仕事の両立が促進されたと感じています。多くの従業員がこの制度を利用し、保育所の行事参加や子どもの急な体調不良対応が可能になり、家庭での安心感が向上しました。この取組みは、働きやすい職場環境づくりを支援し、企業全体のエンゲージメント向上に貢献しています。

### 担当者の思い

働き甲斐のある仕事は、人々の生きがいや自己実現を支える大切な要素です。一人ひとりが能力を発揮できる職場環境を整えることで、個人の幸福感だけでなく、組織や地域、そして経済全体の成長を促進していくと考えています。当社では今後も公平な機会と持続可能な働き方を追求し、長く働くことのできる職場環境を目指していきます。

〈総務部 上田 耕平〉



# 四国竹林塗装工業株式会社



代表者 / 代表取締役 池田 昭大  
業 種 / 塗装工事業  
所在地 / 愛媛県新居浜市泉池町 3 番 24 号  
連絡先 / 0897-33-9381  
URL / <https://s-take.jp/>

## SDGs 達成に向けた取組み

### 捨てる前に再利用—シェアウエス活動—



#### 目的・背景

これまで塗装作業で使用するウエス（工業用のぞうきん）は使い古しの衣類等を購入し、使用していました。そこで SDGs の取組みとして、家庭から出る不要なタオル類を寄付していただく“シェアウエス活動”を始めました。当社への持ち込み、イベントでの回収を行うことで地域の方との交流にもつながりました。

#### 具体的な取組内容

令和 4 年 9 月

社内にてシェアウエス活動について周知し、回収ボックスを設置しました。

令和 4 年 11 月

ウエスの消化具合や裁断作業のスケジュールを把握し、SNS と HP で寄付を募ることで社外からの協力を得ることができました。

令和 5 年 12 月

感謝イベントを行う際にチラシで告知したところ、寄付が集まりその後も継続して持ち込みしてもらえる方が増えました。

令和 6 年 7 月

寄付していただいた方に新居浜市専用の地域ポイント“あかがねポイント”付与を始めたところ、ユーザーの方々から新規で協力を得ることができました。

#### 成 果

- ①感謝イベントには 2 日間で延べ 500 人以上の来場があり、リユースの一例を示せた。
- ②市が発行する広報誌の広告欄へ掲載したところ、継続的に寄付が集まるようになった。
- ③あかがねポイントプレゼント企画では、実行前より参加人数が 5 倍となった。

SNS で活動について発信することで周囲からの反響もあり、SDGs や環境問題に取り組むきっかけを作ることができました。ウエスについては、ほぼ毎日消費するものなのでこれからも継続的に活動を続けていきます。寄付がコンスタントに増えていけば、協会会社さんにも配布できるよう計画していきたいと考えています。

#### 担当者の思い

簡単に参加できる活動に取り組むことで、社員の SDGs に対する意識が高まり、地域社会に貢献しているという実感が得られました。また、令和 6 年度から始めたポイントの付与については、地域との新しいつながりができ、活動の後押しとなりました。今後も社内全員で取り組める SDGs 活動を考え、目標の達成に貢献していきます。

〈総務部長 佐々木 春奈〉





## SDGs 達成に向けた取組み

### 「Seal Demand Gateways」推進



#### 目的・背景

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】(9) (12) (17)  
当社が製造・販売しているパッキン・ガスケットは、プラント内の配管の漏れを防ぐという大切な役割を担っております。漏れを防ぐことで、原料やエネルギーのロスを減らせ、地球環境の保全に貢献しています。

【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】(3) (4) (5) (8) (10) (11)

当社では職場環境の改善を図り、女性の活躍推進、男性の育休取得推進、有給休暇の取得推進、といった仕事と家庭の両立を支援する取組みを進めてまいりました。そして、さらに令和5年からは働きがい改革プロジェクトという新たな取組みに進化しています。

#### 具体的な取組内容

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】

パッキン・ガスケットをはじめとしたシール材の製造・販売 (通年)

【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】

◆働きがい改革プロジェクト

令和6年1月：ありがとうカード 運用2年目／令和7年からは Web 化

令和6年1月：「Just in Just」を語る  
経営理念である「Just in Just」を各自が落とし込んで、自分にとっての「Just in Just」を発信

◆国の認証制度への申請

令和6年2月：くるみん認定

令和6年6月：えるぼし (2段階目) 認定

◆女性の活躍推進

女性1名、部長職に就任

◆男性の育休取得推進

男性2名、育児休暇取得 (取得率 100%)

◆障がい者の雇用

新規に1名、採用

あいサポート研修を全社員受講

◆グループ会社を含めた全社員対象の研修視察

令和6年10月、11月：東京視察



研修視察

【その他：CO<sub>2</sub>削減】

◆エコカーの導入

令和6年 8台導入

フォークリフトをガソリンタイプからバッテリータイプに更新予定 (発注済み)

◆照明器具のLED化

令和6年10月～12月：全拠点をLED化 (発注済み)

◆電力の見える化 推進

令和6年8月：省エネ診断を実施

令和6年12月：診断結果を基にコンプレッサーを更新

#### 成果

①環境負荷の軽減

②働きがいのある

職場の整備

③「くるみん」、  
「えるぼし」認定



くるみんロゴマーク



えるぼしロゴマーク

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】

シール材の製造・販売を通じて、環境負荷の軽減に貢献できています。

【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】

・働きがい改革PJの活動により、社内のコミュニケーションが強化されました。そのことにより信頼関係が増し、働きがいを今まで以上に感じながら取り組んでいます。取組みの体制もトップダウンからミドルアップダウンに移行し、会社全体で取り組んでいるのも成果であると感じております。

・仕事と家庭の両立を支援すべく、男性育休や女性の活躍推進を進めているのと同時に、国の認証制度にも申請しました。「くるみん」と「えるぼし」の認定をいただいたことで、今取り組んでいることが間違いないと、自信を持つことができました。働きがいのある職場が整備されるとともに、社外にも弊社の取組みをPRできました。

#### 担当者の思い

SDGsに積極的に取り組んでいることで、採用活動において弊社への関心が高まっています。当社が行う取組みを社内でも共有することにより、社員のSDGsに対する関心が高まっていると感じています。また、事業を通じて社会に貢献しているので、自分の仕事に誇りを感じています。



〈企画室 課長 中谷〉



## SDGs 達成に向けた取組み

# 海洋ごみゼロを目指して



### 目的・背景

このままでは 2050 年には海洋ごみが魚の量を超えるかもしれません。漁業が盛んな南予では、海洋ごみとなった莫大な量の発泡スチロール製漁網ブイの処理が課題で、放置しておくともマイクロプラスチックになってしまうため、一刻も早い処理が求められていました。そこで減容機を導入し、愛南町と連携した効率の良い運搬、再資源化の実現をすることができました。また、海洋ごみは陸から流れ出ているものも多く、減らすためには一人ひとりの意識が大切になります。美しい海に面する地元愛媛で、未来を考えながら廃棄物のリサイクルや海洋ごみ問題に向き合ってきた私たちだからこそ伝えられることがあると思います、環境学習にも力を入れています。

### 具体的な取組内容

#### 令和 6 年 4 月

まつやま Re・再来館にて 2 ヶ月間、事業や海洋ごみ問題についての展示をしました。来館されたみなさまが見るだけでなく参加できるように“海洋ごみを減らすために私たちにできること”を記入していただきました。

#### 令和 6 年 7 月

日本財団主催、海と日本プロジェクト・瀬戸内オーシャンズ X「上陸困難海岸の漂着ごみ 巡回回収作戦」キックオフに参加しました。

#### 令和 6 年 7 月

高浜児童クラブからのご依頼で、環境学習、廃材をアップサイクルしたキーホルダーづくりを行いました。オリジナルキーホルダーをつくるときにそれぞれテーマを決め、SDGs という文字や、きれいな海で泳ぐ生き物をデザインに入れる子どももいました。



キーホルダーづくり

#### 令和 6 年 9 月

河原デザイン・アート専門学校にて講演をしました。1 年生は終了制作に、2 年生は卒業制作に海洋ごみや廃棄物の課題をテーマに取り入れるということで、真剣に話を聞いてくださりました。

#### 令和 6 年 9 月

「えひめビーチクリーンスクール in 高浜」にて、講演をしました。また、廃材をアップサイクルしたキーホルダーづくりも親子で語り合いながら楽しんでいただくことができました。

#### 令和 6 年 9 月

弊社、水 ing エンジニアリング株式会社四国営業所、河原デザイン・アート専門学校、愛媛 FC ユースの 4 団体、120 名で梅津寺海岸のビーチクリーンを行いました。190kg の海洋ごみを回収しました。

#### 令和 6 年 10 月

興居島小学校 3、4 年生に出前授業を行いました。子どもたち

に“私たちにできること”を発表してもらい、これからの行動につながるように工夫しました。事前に近くの海で拾った海洋プラスチックごみをアップサイクルしてキーホルダーづくりも行いました。

#### 令和 6 年 10 月

梅津寺海岸で実施された「スポ GOMI 甲子園 2024 愛媛県大会」に協賛し、参加した高校生に講演をしました。

#### 令和 6 年 11 月

福音小学校の 4 年生に出前授業をしました。廃材をアップサイクルしたキーホルダーづくりもしました。

#### 令和 6 年 11 月

「えひめビーチクリーンスクール in 明浜」にて講演をしました。また、廃材やビーチクリーンで集めた海洋プラスチックごみをアップサイクルしたキーホルダーづくりも、親子で語り合いながら楽しんでいただくことができました。

#### 令和 6 年 11 月

新田高校 2 年生のグループワークで海洋ごみ問題を選択した生徒の見学を受け入れました。環境学習や廃棄物リサイクルの見学、廃材をアップサイクルしたキーホルダーづくりを行いました。



出前授業



アップサイクルキーホルダー

### 成 果

#### ① 300 人近くに環境学習を行いました。

海洋ごみや廃材をアップサイクルするキーホルダーづくりでは、廃棄物が生まれ変わる様子を実際に見て触れて、子どもから大人まで楽しく学んでもらえました。アップサイクルしたキーホルダーを持ち物につけることで、友人や家族と海洋ごみや環境について話をするきっかけになり、多くの方々に伝わると嬉しいです。

### 担当者の思い

令和 6 年度は、今までの事業や活動から得た知識を愛媛県のみなさまに環境学習として伝える機会を多く持つことができました。SDGs の目標達成や明るい未来のためには、進化しながらみんなが一緒になってつないでいくことが大切だと感じているので、関わったみなさんの心が動くような工夫をしながら今後も活動していきたいです。〈広報・マーケティング部 武田 里桜〉



# 白石建設工業株式会社



代表者 / 代表取締役 白石 尚寛  
業 種 / 総合建設業  
所在地 / 愛媛県新居浜市久保田町 3 丁目 9 番 20 号  
連絡先 / 0897-33-4812  
U R L / <https://www.shiraishi-inc.co.jp/>

## SDGs 達成に向けた取組み

## 食品ロス削減ショップ新店舗の開業と県内の生活困窮者への支援活動への取組み



### 目的・背景

令和 6 年 6 月より取組みを開始した、ecoeat（エコイート）新居浜店は SDGs の 17 の目標のうち、1「貧困をなくそう」、2「飢餓をゼロに」、3「すべての人に健康と福祉を」、4「質の高い教育をみんなに」、12「つくる責任 つかう責任」及び 16「平和と公正をすべての人に」の目標に一致し、食品ロスの削減に向けての活動及び生活困窮者の方への支援を行っています。

### 具体的な取組内容

この取組みは、『食品ロス削減ショップ ecoeat』の活動に賛同し、フランチャイズ加盟店として令和 6 年 6 月 28 日に「ecoeat 新居浜店」を開業いたしました。

ecoeat では主に 3 つの取組みを行っています。

1 つ目は、事業者等から廃棄予定の食品や飲料の買取・貰い受けを行っています。製造メーカーや商社、小売店の方々から賞味期限間近やパッケージの印字ミスなどにより廃棄予定の商品の買取・貰い受けを行っています。

2 つ目は、ecoeat の店舗にて販売を行っています。事業者等から買取・貰い受けいただいた食品の中から、賞味期限残に関わらず安全かつ美味しく食べていただける商品を陳列しています。販売している商品をご購入いただくことで、より多くの食品ロスを減らすことにつながっています。また、食品ロスを消費者の方々に正しく理解していただくためにも、店内の POP 掲示等により、賞味期限と消費期限の違いや食品の知識など食品に関する啓発活動も行っております。

そして 3 つ目は、生活困窮者の方へ食料支援を行っています。様々な事情で働くことができない、子どもへの食料がない、など生活に困っている方へ食料無償支援を行っています。

今後、ecoeat 新居浜店は、養護施設への支援拡大も行っていきたいと考えております。



店舗外観



店内 POP 掲示

### 成 果

#### ① 愛媛県内 4 名の生活困窮者への食料支援

愛媛県内在住の 4 名の生活困窮者の方へ食料支援を行いました。

お申込方法は、ecoeat の HP にあるフォームより、世帯の家族構成、収入・生活状況、必要な食品の量などご依頼者様の情報をご入力いただけます。お問い合わせ内容に合わせて食料を選定し、規定の段ボールに詰め、お客様のもとに直接配送します。

お申込みいただいた 4 名の合計 ¥10,529 (+ 送料自社負担) 分の食料支援を行いました。

#### 担当者の思い

身近にあるのにどこか他人事感じてしまう食品ロスという課題に対して、賞味期限切れの商品を安易に廃棄するのではなく食べられるものを自分で判断し、「もったいない」という意識を一人一人が持つことで持続可能な社会につながっていくと感じました。〈総務部 村上 菜奈美〉

## SDGs 達成に向けた取組み

## 女性もいきいきと働きやすい職場を



### 目的・背景

我々の建設業界、特に土木など現場に出て働く業界でも人材の流入が少ない、技術者の高齢化により人手不足が加速しています。

一方で仕事の充足感や地域への貢献度はかなり大きなものかと私は思っております。

そこで弊社は男性が主であった業界に女性が足を踏み込みやすくするため環境を整えることからスタートしました。

### 具体的な取組内容

実施期間は令和6年5月～現在に至っております。現場での指示がしっかりとできておれば適材適所での活躍は期待できます。

内容として、まずは現場環境の見直しと女性従業員へのリテラシーの向上を図りました。

男性社会の中に女性が突然入るため、腕力で劣るからこそできることが明確に露見されてしまいます。では女性が働けない場所なのかというそうではなく、例えば運転手であれば腕力に関係なく活動できます。またブロックの間詰など細かい作業（仕上げ）においては女性のほうが感性を発揮できるかと私は考えて実際にさせていただきました。

もちろん初めてで覚えることがあり、肉体にも負担はかかるため大変だとは言っておりましたが、徐々に慣れることで少しずつ活躍しております。



### 成 果

- ①オペレーターとして役割を担える。
- ②働き方改革にも貢献している。
- ③女性が入ることで男性側のモラル面もいい意味で緊張させられる。

①から説明しますと、左記で運転手として期待できるとつながるところがありまして、ダンプカーなどの運搬の運転手以外にも重機オペレーターとして現場での指揮もとれるようになること間違いのないかと思えます。

②について、小さなお子様を育てていらっしゃる方も土曜日日曜日と安心して過ごせるように週休2日制を導入させていただきました。これにより年間休日を約20日ほど増やすことに成功し、働き方改革にも大きく貢献できたかと私は思います。

③については、昨今のコンプライアンス問題に対し男性側もモラル面でよい方向に改善しているかと私は考えております。以前であればハラスメント的な発言はこの業界では見られるものでしたが、少しずつジェンダー差別やハラスメントの減少につながっているはずで。

### 担当者の思い

結果として弊社にとってプラスの出来事となりました。

崇高な思いがあっても実行するものと考えが変わらなければ改善はありません。この業界において新しい風が吹くことはチャンスです。未永く業界があり続けるための課題だと私は考えます。

〈代表取締役 越智 敬元〉





## SDGs 達成に向けた取組み

# SDGs 視点による地域活性化への取組み



### 目的・背景

当社は経営理念である『便利で豊かな生活の創造』のもと、環境に配慮したモノづくりやお客様の声を反映した商品の開発を進めてきました。

その一環として、令和4年4月にSDGs推進室を発足し、各部署から選ばれたメンバーが会社の掲げる3つの目標と10のテーマに沿った活動を行ってきました。

今回、この3つの目標の1つである『社会を豊かにする』ための取組みとして、一般社団法人西条市SDGs推進協議会様と連携し、当社オリジナル物置を1団体に1台、寄附を実施させていただくこととなりました。



寄附物置

### 具体的な取組内容

令和6年7月より、当社HP及び西条市SDGs推進協議会様のサイト上にて、以下の内容で物置1棟寄附の募集を行いました。

1. 愛媛県西条市内で活動する団体であること。
2. 寄附物の設置場所が愛媛県西条市内であること。
3. 幼児～中学生と共に活動を行う団体であること（例：子ども会、スポーツ団体、ボランティア等含む）。
4. 寄附したスチール製物置を継続して管理及び運用することができる団体であること。
5. 寄附したスチール製物置を設置する予定場所が明らかであること。
6. 寄附したスチール製物置を設置する場所（土地）の所有者等との使用許可が取れている、または取れる見込みであること。

この取組みを知った西条市の未来共創課の方も周知に協力して下さり、9月までの募集期間中に4団体からの応募がありました。

抽選の結果、壬生川小学校を拠点に活動されている「ジュニアハンドボール西条スクール」様へ寄附することが決まりました。

12月7日、壬生川小学校の体育館横にて、寄附した物置の設置及び贈呈式を行いました。当日はジュニアハンドボール西条スクールメンバーの中から上級生のメンバーが14名ほど集まってくれ、和気あいあいとした雰囲気のもと、1時間半程度で物置が完成しました。



物置組立中

その後、ジュニアハンドボール西条スクール代表、西条市長、壬生川小学校校長、西条市SDGs推進協議会専務理事、当社取締役他関係者一同が参加し、贈呈式を行いました。

その様子をハートネット様と愛媛新聞様が取材され、後日ケーブルテレビでの放送及び新聞紙面で紹介されました。



集合写真

### 成 果

#### ①地域への貢献 ②当社技術の宣伝

この取組みにより、活動の都度車で運んでいた道具を収納する場所ができてとても楽になったと、ジュニアハンドボール西条スクールメンバーの方たち大変喜んでいただくことができました。

また、今回寄附した物置は、この取組みのために特別に扉をデザインした物置であるということも伝えたと、とても感激していただけたことにも、当社の技術にも関心をもっていただくことができました。

今回の取組みは、当社の宣伝もできつつ、地域貢献の一助にもなったと思っております。

今後も年に1回この取組みを続けていき、SDGsの目標のうち、11「住み続けられるまちづくりを」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」などに効果を発揮していきたいと思っております。

### 担当者の思い

今回寄附した物置は、石鎚山や「水の都」西条市の景色をモチーフに特別にデザインしました。組み立てはスクールの子もたちと共に、地域の皆さまとSDGsの取組みを共有する意義深い体験となりました。

贈呈式では、西条市長をはじめ地元関係者の方々に参加いただき、愛媛新聞社や地元ケーブルテレビの取材も入り、当社の地域貢献活動を広く知ってもらった貴重な機会となりました。これからもこの活動を続けていきたいと思っております。

〈営業本部 主任 四方 真由美〉



## SDGs 達成に向けた取組み

## 未来の世代へつなぐ地域・社会づくりを



### 目的・背景

弊社では SDGs17 のゴールのうち No.11 「住み続けられるまちづくりを」及び No.8 「働きがいも経済成長も」を指針として、施工面や雇用面などで様々な取組みを行っております。施工面では、環境に影響が少なく耐候年数の長い塗料を積極的に使用し、雇用面では、積極的に従業員の正社員雇用・スキルアップに努め、給与のベースアップも行っています。働きがいのある環境で、安心して住み続けられる地域づくりを行い、それらを未来の世代へと託し、つなげていけるような取組みを続けています。



### 具体的な取組内容

#### 令和6年4月

請負現場での無駄な塗料や養生資材の消費を減少させるため、業務の一部デジタル化を積極的に行い、寸法計算等を効率化させ、産業廃棄物の発生を減らす取組みを行いました。

#### 令和6年7月

関西ペイント主催の講習会に参加し、新技術等に関する情報収集を行いました。

#### 令和6年8月

所属する塗装協会が主催し、約30名ほどが集まった塗装ボランティア活動に参加しました。

#### 令和6年10月

従業員に対し、2.5%程度の昇給を行いました。

#### 令和6年11月

塗装業に関連する多くの業者が参加した情報交換会に出席し、業界が抱える課題や業務効率化方法、新たな業務資材などに関する情報収集を行い、業務の改善・効率化の検討を行いました。

#### 令和6年12月

協力事業者へ複数の技能講習会等に参加していただき、スキルアップを図ります。

#### 令和7年2月

令和6年度の取組事例と成果をもとに令和7年度の経営方針の策定案作成を行う予定となっています。

### 成果

- ①従業員に対し、直近1年以内に2度の3%前後のベースアップを行いました。
- ②塗料・関連資材などの廃棄量を約10%削減できました。
- ③関西ペイントが推進するリフォームサミット登録店制度にて、愛媛に7店舗しかないプラチナ登録店の認証を受けました。※令和6年12月現在

- ① SDGs17 のゴールのうち No.8 「働きがいも経済成長も」を実現するため、業務効率化に貢献した従業員に対し令和5年度から最大5%以上となる積極的な賃金のベースアップを行いました。従業員の貢献に対して正当な成果物を示すことなどにより、従業員が向上心を持って働ける労働環境の構築に今後も取り組んでいきます。

- ② 効率的な推量計算を行うことにより、必要な塗料総数や資材数などを発注・在庫管理を行うことにより資材ロス削減に努めました。その結果、お客様への費用負担の減少、排出ゴミ10%程度の削減を実現することができました。

- ③ これまで継続してきた実績が認められ、関西ペイント株式会社が推進するリフォームサミット登録店制度にて令和6年12月現在で、愛媛県に7店舗しか存在しないプラチナ登録店としての認可を受けました。この認可により、さらに高品質な施工をお客様に対してご提供できることとなりました。



### 担当者の思い

会社を挙げてのSDGsへの取組みは、私たちの大きな意識改革につながりました。業務への向上心は、個々の従業員のパフォーマンスを向上させるとともにお客様への満足度を高める要因にもなっていて、大変良い好循環につながっていると思います。今後はこれらの取組みを広報活動につなげながら、お客様・地域の方々・未来の世代へ向けて、誠心誠意、私たちが行える取組みを続けていけたらと考えております。

〈代表取締役 西市 匠〉





## SDGs 達成に向けた取組み

# 「坂の上の雲」のまちを歩こう 25 松山ふるさとウォーク in 道後



### 目的・背景

松山市・南海放送主催の『「坂の上の雲」のまちを歩こう 25 松山ふるさとウォーク in 道後』へ協賛及び運営参画を行いながら、健康増進のイベント運営と合わせて、ダスキンの社会貢献活動「クリーンアップマイタウン」を実施。「ウォーキングをしながら街をキレイに」をキャッチフレーズとし、美化運動にも参画していただく企画です。

### 具体的な取組内容

■主旨：この「クリーンアップマイタウン」という活動は、ダスキンが平成 18 年から全国で実施させていただいている、身近な街を一緒にキレイにするゴミ拾い活動で、現在まで 33 万人の方々に 16 トン以上のゴミを拾っていただいているものです。今回は城山公園スタート、道後公園グラウンドゴールの、コース上におちているゴミをウォーキングを楽しみながら参加者の方々に拾っていただく活動です

①日時場所：令和 6 年 11 月 30 日 9：30～14：00

スタート：城山公園

ゴール：道後公園グラウンド

②目的：健康増進のイベントとして松山市・南海放送様の主催のもと伊予銀行様特別協賛・ダスキン協賛したイベントです。



### 成果

- ①一般参加者数約 900 名の方にゴミ拾いをしていただいた。
- ②収集ゴミ 10Kg 12 名のスタッフ
- ③RNB 南海放送(土曜日 16：55～OA) ホット情報にてダスキンの社会貢献活動の PR 放送 現地事前収録

ウォーキングイベントに参加いただいた 900 名の方全員にゴミ袋と手袋をお渡しし、ウォーキングと並行してコース上のゴミを拾って街の美化運動に協力をいただき、意識を高めていただきました。またゴール地点でそのゴミを回収して、そのお礼にダスキンで一番人気の台所用スポンジをプレゼントし、大変喜んでいただきました。またその活動のスタート前に舞台にて自社のスタッフが活動方法と全国での活動内容を解説し、SDGs の一貫であることの説明をしたほか、南海放送番組内においても自社スタッフがインタビュー形式で活動の意義の解説をさせていただきました。



### 担当者の思い

ダスキンの企業使命が「お掃除文化の革命」ですので、美化活動そのものがダスキンの存在意義です。松山市のこのイベントは最大限にマッチする企画であり、協賛はごく自然な流れだと思います。TV 放映などで広くこの活度を知っていただくことが弊社従業員の SDGs に対する意識を高めることもでき、お子様の教育にも役立っているとの声を聞きますので、これからも継続して協賛とイベント応援をしていきます。

〈ダスキン椿 グループ統括本部長 金田 安彦〉



## SDGs 達成に向けた取組み

### 環境に配慮したものづくりへの取組み



#### 目的・背景

真珠養殖の過程で真珠取り出し後に出るアコヤガイの貝殻の再利用方法を考えました。

#### 具体的な取組内容

真珠養殖の過程で、真珠を取り出す作業は 12 月から 1 月に行われます。

そのときに出る養殖で使用後のアコヤガイの貝殻の再利用の方法として、

- ・ 貝殻を加工し、販売
- ・ 貝殻の真珠層を削りだし販売
- ・ 貝殻の真珠層を粉砕し、パウダーを製造し販売を行いました。

#### 成 果

① 貝殻の消費量が増え、事業拡大にもつながった。

取引先が増えたため、貝殻の消費量が増えました。

そのためこれまでの工程では間に合わなくなり、今後新しい雇用を増やす予定です。

#### 担当者の思い

真珠養殖は自然の恩恵を受けて仕事できています。私たちはその自然に少しでも恩返しをしなければならぬと考えます。

〈代表取締役 土居 一徳〉





## SDGs 達成に向けた取組み

# 自然災害や交通事故から 1 人でも多く子どもたちを守り、包括的かつ 公平で質の高い教育支援に貢献する



### 目的・背景

弊社は、「お客様や社会の“いつも”を支え、“いざ”をお守りする」ことをパーパスとして、社会や地域の人々を事故や災害から保険を通じてお守りすることだけでなく、保険事業で培った知識と経験を活かし、事故の未然防止や事前の「安心と安全」の提供を行っております。

私たちの一歩先の未来を見据え、「未来世代」を主要ステークホルダーのひとつとして明確化し、「未来世代」へ持続可能な環境を引き継ぐこと、子どもたちへの教育啓発を通じて「未来世代」の挑戦を支えることは、私たちの責務であると考えております。未来を担う子どもたちへの教育支援として、弊社社員や保険販売代理店が講師となり「ぼうさい授業」「自転車安全教室」の出前授業を実施しています。

### 具体的な取組内容

#### ■ 「ぼうさい授業」について

- ・愛媛県内の小学校 28 校に企画提案し、6 月～12 月期間において、20 校で実施しました。
- ・地震や津波などの災害が発生する仕組みについて学習し、クイズや話し合いを通じて、非常持ち出し品等を使用しながら災害時の対応や備えについて考え、学校や家庭で防災について家族と話し合うことをテーマに授業を実施しております。



#### ■ 「自転車安全教室」について

- ・松山市内の警察署（東署・西署）・松山市と連携し、松山市内の高校・大学を対象に 4 月～11 月で 11 校（13 回）実施しました。
- ・自転車の交通ルールの周知や、路上駐車の危険性・駐輪マナーについて授業を実施し、自転車の交通事故と損害賠償責任についての理解を深めながら、事故防止についての理解促進に取り組んでおります。

### 成果

- ①ぼうさい授業：令和 5 年度 10 校実施  
→令和 6 年度 20 校実施（28 校実施予定）
- ②自転車安全教室：令和 5 年度 10 校（12 回）実施  
→令和 6 年度 11 校（13 回）実施

「ぼうさい授業」では、「安心・安全をお届けする」「人を支える」の取組みとして実施しています。子どもたちが地震・津波・水害・土砂災害の発生メカニズム、発生への備え等を学ぶ出前授業を開催しました。子どもたちが授業で学んだ知識を、家族と話し合うことで、一家全体で防災への意識を高め、災害に強い地域づくり・住み続けられるまちづくりに貢献しております。

「自転車安全教室」では、令和 5 年度より実施回数も増やすことができ 13 回の実施となっております。自転車を通学で利用する学生も多い中、自転車安全教室を通じて交通ルールや路上駐輪の危険性、自転車の交通事故と損害賠償責任についての理解を深めることができました。

### 担当者の思い

本取組みを通じ、SDGs に取り組むことが弊社のパーパスの実現につながっていることを実感しました。

SDGs の普及に積極的に取り組むことや人を支える「D&I の推進・浸透」を通じて、社員一人ひとりの働きがいの向上と成長、また社会への貢献や弊社の認知度向上にもつながっていると感じております。

今後も継続して取り組むことで、お客様や社会の“いつも”を支え、“いざ”をお守りし、地域社会になくてはならない存在を目指して日々挑戦してまいります。

（愛媛支店業務グループ シニアアソシエイト 西田 奈生）

- ①西日本電信電話株式会社 四国支店
- ② NTTビジネスソリューションズ株式会社 愛媛ビジネス営業部
- ③株式会社NTT フィールドテクノ 愛媛設備部



代表者 / ①四国支店長 鈴木 裕二郎  
 ②愛媛ビジネス営業部長 中山 敦広  
 ③愛媛設備部長 宝満 貞治  
 業 種 / 電気通信業、その他附帯業務等  
 所在地 / ①②愛媛県松山市一番町 4 丁目 2 番地  
 ③愛媛県松山市南江戸町 1283-1  
 連絡先 / ①② 089-936-2846  
 ③ 089-909-6173  
 U R L / <https://www.ntt-west.co.jp/>

## SDGs 達成に向けた取組み

# NTT 環境クリーン作戦 2024 in 愛媛



### 目的・背景

「NTT 環境クリーン作戦」は、NTT グループのサステナビリティ活動の一環として、地域清掃活動などの「みどりいっぱいプロジェクト」として取り組んでいるものです。道後公園の清掃と落ち葉を腐葉土にして森に還元することで二酸化炭素排出量を削減し、湯築城跡の自然保護に取り組んでいます。

### 具体的な取組内容

令和 6 年 12 月 14 日（土）、愛媛県松山市の道後温泉の入口に位置した道後公園で愛媛エリアの NTT グループ各社等の社員・家族約 250 人が集まり、ボランティア清掃と落ち葉集めを行う「NTT 環境クリーン作戦 in 愛媛」、「みどりいっぱいプロジェクト」を実施しました。

令和 6 年で 30 回目になる NTT 環境クリーン作戦は、道後公園の清掃と落ち葉を腐葉土にして森に還元することで二酸化炭素排出量を削減し、湯築城跡の自然を保護する道後公園の環境保全に貢献しています。道後公園を清掃し、排水溝にたまった落ち葉や泥を木々の根元にまいたり、遊歩道や丘陵地、広場の落ち葉やゴミを回収したりするなど、公園は大変きれいになりました。



### 成 果

- ①道後公園の環境保全
- ②参加者の環境課題に対する意識向上

第 30 回となる「環境クリーン作戦 2024 in 愛媛」の活動は、道後公園の環境保全への貢献はもちろんのこと、参加者があらためて環境課題に対して考えるよい機会となりました。

### 担当者の思い

NTT 西日本グループとして、地元松山でも貴重な場所である道後公園の環境保全に約 250 人の仲間とともに貢献できたことは大変意義のあることだと思っています。活動は節目の 30 回となりましたが、50 回・100 回と継続して、SDGs 推進に取り組みたいと思っています。

〈西日本電信電話株式会社四国支店・  
 NTT ビジネスソリューションズ株式会社愛媛ビジネス営業部  
 課長 三好 靖人〉

### 担当者の思い

SDGs 達成に向けては、企業という集団の中で、社員個々の意識と活動が実現の源と考えます。秋の落ち葉集めが来夏のみどりの彩りにつながるように、NTT 西日本グループの SDGs の活動が、地元のみならず観光者を通して、全国そして世界へ活動の和（輪）が広がっていくことを願っています。

〈株式会社 NTT フィールドテクノ愛媛設備部  
 総括担当 山内 隆志〉



## SDGs 達成に向けた取組み

### 地域課題を循環経済で解消



#### 目的・背景

令和4年9月9日首相官邸において、政府の食料安定供給・農林水産業基盤強化本部が開催されました。スマート農林水産業の推進、農林水産物・食品の輸出促進などの方策検討、推進が目的で、岸田文雄首相は化学肥料の高騰に対応するため、下水汚泥堆肥化の利用拡大を指示されました。令和5年6月には農林水産省において国内肥料資源の利用拡大プロジェクトが開始され、当社は下水汚泥の肥料化割合向上を目指し、東予4市1町様のご支援を賜りながら官民一体となって取り組んでおります。

#### 具体的な取組内容

令和6年4月より、東予3市1町様より下水汚泥等の受入を開始しました。  
 令和6年6月には、CO<sub>2</sub> 排出削減のため新電力を導入しました。  
 令和6年7月より、近隣自治体様へ有機質肥料「coeru」の販売を開始しました。  
 令和6年8月より、中予の1市様からも脱水汚泥の受入を開始しました。  
 令和6年8月30日、あいテレビ様「なぞマチ!？」で当社の取組みが取り上げられました。  
 令和6年10月、処理量拡大に向け、自動攪拌機「ターンコンボ」2号機を導入しました。  
 令和6年11月、生産量増大に向け、造粒設備を増設しました。  
 令和6年12月、菌体リン酸肥料の登録を申請しました。(11月15日大臣確認済・愛媛県へ登録申請)  
 令和7年1月、菌体リン酸肥料の愛媛県での登録が完了しました。

地域の廃棄物を受け入れ、それらを原料として発酵熟成させ完成した有機質肥料「coeru」を地域に還流することは、地域の資源と経済を循環させることであり、かつ、化学肥料や農薬を用いた慣行栽培から脱却し、安心・安全な有機質肥料「coeru」をお使いいただくことは、土壌や水質の改善、CO<sub>2</sub> 排出削減にもつながります。

#### 成果

- ①東予地域の下水汚泥の肥料化率が令和5年度の7%から令和6年度は43%に拡大の見込みです。
- ②循環を支える持続的な「仕組み」の構築ができました。

令和5年度には全体の36%が埋め立て処分されていた愛媛県東予地域の下水汚泥を、令和6年度には肥料化43%、建設資材40%とその割合を変化させ資源として再生し、埋立処分される割合を17%まで削減させる見込みです。また、自治体様にとってはそれまで廃棄されていた下水汚泥を資源として再生でき、かつ処分費の削減も図れ、農業生産者様は安心・安全な有機質肥料を低コストで使用でき、かつ地域の土壌や水質の改善にもつながり、消費者様は安心・安全で栄養価の高い食物が手に入る。まさに三方よしの循環を構築することができました。

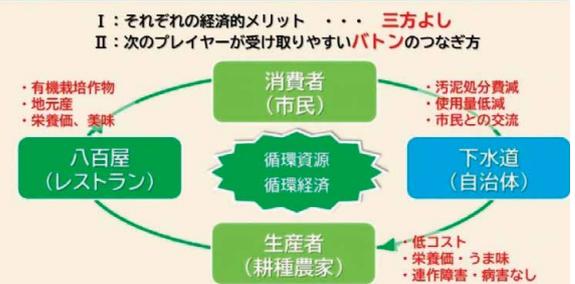
#### 循環経済 3: 下水汚泥の循環サイクル



#### 循環経済 8: 愛媛県東予地域の下水汚泥肥料化



#### 地域循環共生圏 8: 循環を支える持続的『仕組み』



#### 担当者の思い

当社は「地域課題解消業」を標榜しております。地域の「廃棄物」「資源」「環境改善」「循環経済」等々、諸問題を解消に導く安心・安全な有機質肥料「coeru」を自信をもって地域のみなさまにご提供でき、またお客様より「おいしい作物がたくさんできた」などのうれしいお言葉もたくさんいただいております。当社が志向する「地域のために会社はあり、会社は地域とともに栄える」の志の下、今後も循環経済に貢献してまいります。  
 〈参与 小林 榮充・総務 萩森 ゆかり〉





## SDGs 達成に向けた取組み

# Kuroshio Smile Activity ～フィリピンの子どもたちに学用品を届けよう～



### 目的・背景

社内で取り組んでいる SDGs 活動の中で「クロシオスマイル」は令和 5 年に始めた活動、今回が 2 年目（2 回目）になります。これは弊社の貨物船乗組員の大半を占めるフィリピン人船員へ感謝の意を込めて彼らの母国に恩返しをすべく、現地の子どもたちの教育を支援することを目的とした活動です。船員たちに希望することを聞いた結果「貧しい地域の子どもたちに学用品を届けてほしい」という意見が最も多かったことがきっかけです。フィリピンには公立の学校で授業料はかからなくても文具を購入できない家庭が少なくありません。船員の出身地を意識して学校を紹介してもらいます。クロシオ（黒潮）はフィリピン海域から日本に向けて流れる海流で友情のシンボルとしてこの名前をつけていました。

### 具体的な取組内容

令和 6 年 12 月にフィリピンのパナイ島という島にある 2 つの小学校で活動しました。（令和 5 年とはまた違う学校を選定しました）



1 校は生徒が 700 人越えの大きな学校で、もう 1 校は 100 人程度の小さな学校です。令和 5 年は「学用品」に限定して一人一人の生徒に文具を渡しましたが令和 6 年は学校に必要なものも対象にお届けすることにしました。

令和 5 年の活動で老朽化した教室や設備を目の当たりにしたことがきっかけです。

先生たちに必要なものを確認し数か月かけて支給品を決めていきました。活動の準備には最低半年かかります。弊社のマニラ事務所ともオンラインミーティングや出張のタイミングを利用して何度も話し合っ準備を進めました。

今回小学校に支給したものは各生徒への文房具に加え「扇風機」「浄水器」「TV モニター」です。小規模の学校へは生徒 1 人ずつ「制服」もお渡ししました。この学校では規定の制服を持っている子がほとんどおらず皆 T シャツに短パン、スカートだったのでとても喜ばれました。日本の企業がこうして寄付に来ることは過去初めてとのことで PTA や地区の学校代表の先生たちも来られ「とても光栄です」とのことでした。

同じ島に住む弊社船員と家族もお手伝いに参加し子どもたちに船の話、船員の話をしてきて皆興味津々でした。

皆元気いっぱい素直で経済環境と幸福度は異なるものだと改めてこちらが学ぶものもあります。

皆の夢を叶えるためには勉強が大切だからこの活動をしているのだと伝えました。

活動を通して先生たちとも教育環境について話し合うことができ今後の活動のヒントにもなりました。



### 成 果

- ① フィリピンの子どもたちに日本、愛媛、海運業、会社のアピールをすることができました。
- ② フィリピン人船員と彼らの家族に喜んでもらい、会社への思いを強く惹きつけることができました。
- ③ 本業をベースに自分たちの船員も会社を誇りに思ってくれる活動ができ、また将来船員になりたいと子どもたちに思ってもらえることができました。

企業の SDGs として最も価値があるのは会社に関わる人たちに会社を誇りに思ってもらえる活動をする事だと考えています。その点で弊社で働く船員たちにとって彼らの出身エリアを支援するということはとても意味のある活動です。私たちの船員がどのような環境で育ってきたのかを感じることも貴重な体験です。

また子どもたちが船乗りについてとても興味を持ってくれて何人も「Seaman になるー！」と言ってくれたこともとても嬉しく思います。日本に、愛媛に行ってみたいな、という気持ちも持ってくれるのでいつか叶えてくれることを願います。

小さな活動ではありますが少しでもフィリピンの教育環境に貢献できればという思いで継続しようと思っています。



### 担当者の思い

SDGs は国連の掲げる世界の目標ですが、企業版の SDGs は企業が社会と共に成長する目標だと捉えています。一時的なボランティア活動や事業と関連性のない社会貢献をしても持続性は保てないので、やはり本業をベースに社会活動を行うことが重要だと考えます。

また、社会のため、環境のため、もありますが、「より良い会社へ」の思いも大事です。SDGs を活用して従業員が生き生きと誇りを持って働ける会社でありたいと願っています。

（ESG 推進室 室長 原田 瑞紀）



## SDGs 達成に向けた取組み

# ダイバーシティ経営の推進による働きやすい職場づくり



### 目的・背景

少子高齢化や製造業という職種、東温市の山の中という立地から人材不足が大きな課題となっていました。採用率と社員定着率の向上を目的として、これまで理系男性のみに絞っていた採用枠を拡張し、性別・年齢・国籍にとらわれず誰もが働きやすい環境づくりを実施しています。



### 具体的な取組内容

毎月第2・4木曜日に外国人材のための日本語教室の実施（通年）  
年齢・性別・学歴・国籍を問わない採用活動の実施（通年）  
男性・女性育休取得&復帰率 100%（通年）  
毎週水曜日にノー残業デーの実施（通年）  
社内報での各国の文化や価値観、育休取得や結婚の紹介（通年）  
社員提案書の実施（通年）

- 令和6年4月 女性従業員2名入社
- 令和6年5月 資格報奨金授与式の実施  
男性従業員1名育休取得
- 令和6年6月 女性従業員1名が執行役員に就任  
女性従業員1名がリーダー職に就任  
近畿ブロック外国人留学生就職面接会に参加
- 令和6年7月 女性従業員座談会の実施  
高度IT人材受入促進事業に参加  
女性人材マッチング交流会に参加
- 令和6年8月 ユースエル企業認定（3年目）
- 令和6年9月 女性従業員1名入社
- 令和6年11月 女性従業員1名入社  
高度外国人材1名入社
- 令和6年12月 男性従業員1名育休取得  
女性従業員1名育休取得
- 令和7年1月 ひめボススーパープレミアム認証取得
- 令和7年1月 女性従業員1名産休取得

### 成果

- ①女性従業員比率3%向上（前年比）
- ②外国人材7名→8名に増加
- ③日本語能力試験（JLPT）N1 取得者1名増加

#### 【女性技術者比率向上】

平成29年までの女性従業員数が4名だったのに対し、現時点では17名に増加しています。男性従業員のアシスタントとして女性を増やすのではなく女性技術者の採用に力を入れており、女性正社員12名のうち10名が女性技術者です。令和4年に女性初の管理職登用が実施されたことをきっかけに女性技術者としてのロールモデルが確立され、女性従業員がキャリアアップのイメージを描きやすくなりました。

#### 【高度外国人材の採用・日本語能力の向上】

外国人材向けの採用イベントに積極的に参加し、現在は合計8名の海外エンジニアが在籍しています。ただ採用するだけでなく、よりスムーズなお客様対応や社内でのコミュニケーションUPを目的とした日本語教室を毎月第2・4木曜日の就業時間内に実施しており、現在日本語能力試験（JLPT）N1 取得者2名、N2 取得者3名を輩出しています。資格報奨金制度の対象には技能検定のほか言語資格も含まれており、外国人材の日本語スキルの向上を後押ししています。



### 担当者の思い

SDGs を実践していく中で、中小企業の経営課題に密接な関係があることを実感しています。私たちの営利活動が自社や利害関係者に留まらず、地球規模につながる活動になることを意識して、今後も積極的に取り組んでまいります。



〈執行役員 管理部部長 富岡 怜奈〉



## SDGs 達成に向けた取組み

# この町に住み続けられる環境を 働きやすい職場づくりへの社内改革と、個々の生活の基盤づくり



### 目的・背景

新居浜で育った人も、市外県外から来た人も、いろいろな人がこの町に住み続けられる、この町で暮らしていきたいと思えるように、企業としてできる環境構築に取り組んでいます。より働きやすく、より健康で、やりがいや楽しみ、コミュニティを作ること等、できることから取り組んで、持続可能なまちづくりに寄与することが最終目的です。

### 具体的な取組内容

#### ① 【レベニロッソ NC の応援】

レベニロッソ NC は四国サッカーリーグに所属する地域のアマチュアチームです。リーグ戦への参加だけでなく、地域密着でさまざまな活動を行うレベニロッソ NC の応援を通じて、スポーツ振興と地域社会活性化への貢献を目指しています。



#### ② 【年間休日数日の増加】

令和 6 年度は、社員の年間休日数日の増加に取り組めました。



#### ③ 【産前産後休業、育児休業制度の利用促進】

社内報で、制度の詳細や申請の仕方、令和 6 年の実績などを掲載し、制度利用の啓蒙活動を行っています。制度を利用する人だけでなく、その周りの人にも知ってもらい、働きやすい職場を目指します。



### 成 果

- ①地域に根付くつながり
  - ②年間休日数日の増加を実現
  - ③男性女性に関わらず、育児休暇取得率の上昇
- ①当社には、レベニロッソ NC の選手として活躍している社員がおり、仕事とサッカーの両立に加え、地域清掃やジュニアサッカー教室などを通じて地域貢献しています。仕事があり、サッカーを続ける場所があり、地域の人の輪ができることで、この街で生活の基盤を築いています。また、選手だけでなく、応援する有志の社員もどんどん増えてきました。これまではなかった、新しい行事、コミュニティができています。
- ②より働きやすい会社を目指し、改革の途中です。社員がより良い環境で長く働けるよう、福利厚生等のソフト面と合わせて、休日数日の増加等のハード面の改革にも取り組んでいます。
- ③育休取得率の上昇は、複合的な理由からですが、社内報での紹介も、徐々に（特に男性社員が）休暇を取りやすい環境を作る一端を担っています。

### 担当者の思い

社内報で毎号、社内のさまざまな SDGs を紹介していますが、SDGs というワードをきっかけに、みんなが新しい活動を始めていると感じます。大きなプロジェクトは難しいですが、“今より少し良くしよう”の積み重ねを続けていきたいです。  
(管理部 続木)



## SDGs 達成に向けた取組み

# 太陽光発電設備の導入



### 目的・背景

令和6年春に、当社は事務所を新築移転しました。設計段階では、いかに施工費を縮小するか思案していましたが、多少費用が掛かって、少しでも環境に配慮した事務所にしようと思ひ、小規模ですが太陽光発電設備の導入をいたしました。

### 具体的な取組内容

#### 令和6年1月～2月

建築業者と打ち合わせを行い、太陽光発電設備を設置する旨を伝えました。

設置箇所や費用等を考慮し、あくまで自社にて消費することを目的とした規模の設備としました。

消費電力を少なくするため、エアコンの効率を上げるよう建物は気密性の高いものとし、照明は消費電力の少ないLED器具を選定しました。また電気の消し忘れの多い共用部などはセンサー付き器具としました。

#### 令和6年3月～4月

自社にて電気工事を行いました。環境に配慮し使用する電線はエコケーブルにしました。

#### 令和6年5月

無事、新事務所が完成し移転しました。

太陽光発電設備にて作られた電気は自社消費していますが、自社にて消費しきれない余剰な電気 (特に休日など事務所閉所時) については売電を行っています。

### 成 果

- ① 買い取り電力、消費電力の抑制
- ② SDGs に対する意識の向上

- ・ 自社にて電気を発電することにより、当然買い取る電気の量は減りました。また皆が「せっかく自社で電気を発電しているなら、無駄遣いせずなるべくそれでまかなえるようにしよう」と思ってくれているようで、以前に比べ、こまめに電気を消す・照明やエアコンの消し忘れをしないなどの細かな部分での節電ができるようになりました。
- ・ 今回太陽光発電設備を設置することは SDGs の一環であることを社員一同と共有することにより、皆が SDGs というものを学び、身近なものと感じ、個人が行う小さな事柄も SDGs の掲げる目標に寄与していると認識できました。

### 担当者の思い

「会社の成長・発展と従業員個人の幸福が常に一致する経営」・「電気工事を通じて社会に貢献する」は初代代表取締役より続く当社の企業理念です。

SDGs に取り組むことにより、今までより具体的に行動へ移すことができるようになりました。

(代表取締役 宮崎 洋行)





## SDGs 達成に向けた取組み

### 愛媛県産真鯛を使用した商品の発売



#### 目的・背景

ローソンは、四国各県と包括協定をそれぞれ締結しており、各県の県産食材を使用した商品や地元のご当地メニューを再現した商品を開発・販売してまいりました。今回、お近くのローソンで、“ご当地のおいしさ”を楽しんでいただきたいとの思いから、「四国食巡り」として、各県にちなんだ商品 11 品を発売いたしました。ローソンは今後も、地産食材を使用した商品やご当地メニューを販売することで、お客様へ地域のおいしさをお届けし、地域活性化に貢献してまいります。

#### 具体的な取組内容

愛媛県にちなんだ商品は、愛媛県産真鯛を使用した、「愛媛県産真鯛の鯛めしと阿波尾鶏の鶏めしセット」と「愛媛県産真鯛使用 鯛めし弁当」の 2 品です。発売前の 8 月 5 日（月）には愛媛県庁を訪問し、商品完成・発売報告をさせていただきました。

#### 成 果

- ①愛媛県や県外のお客様からたいへん懐かしい、おいしいとご評価いただきました。
- ②愛媛県産真鯛のおいしさをお客様にお伝えすることができました。

商品完成・発売報告の様子は下記 URL をご参照ください。愛媛県産真鯛を使用させていただくことで、おにぎり、お弁当共に『四国食巡り』の対象商品の中で高い販売実績を挙げる事ができました。

[https://www.lawson.co.jp/company/activity/topics/detail\\_jin/1490585\\_9112.html](https://www.lawson.co.jp/company/activity/topics/detail_jin/1490585_9112.html)

#### 担当者の思い

SDGs への貢献は、個人だけでなく、コミュニティ全体の持続可能な未来を築く力となると確信しています。

〈株式会社ローソン中四国カンパニーエリアサポート部 中島 直哉〉

#### 愛媛県



【愛媛県産真鯛の鯛めしと阿波尾鶏の鶏めしセット】  
：税込 408 円

愛媛県産真鯛を使用した鯛めしと阿波尾鶏の鶏めしのおにぎりセットです。竹輪磯辺天、だし巻玉子、れんこんのきんぴら、梅しそ大根をおかずに使っています。



【愛媛県産真鯛使用 鯛めし弁当】  
：税込 642 円

※高知県を除く中国・四国地区のまちかど厨房導入店舗約 900 店で発売

愛媛県産真鯛を使用した鯛めし弁当です。真鯛の出汁を効かせたタレをご飯に混ぜ込み、ふっくらした食感の真鯛ほぐし身をトッピングしました。店内の厨房で調理しています。

# 愛媛菅公学生服株式会社

代表者 / 代表取締役社長 尾崎 茂  
業 種 / 学校制服・体操服の製造、販売  
所在地 / 愛媛県松山市東長戸 4 丁目 1 番 30 号  
連絡先 / 089-927-5510

## SDGs 達成に向けた取組み

### LGBTQ (性の多様性等) の理解促進



#### 目的・背景

LGBTQ 当事者の方や専門家による、生徒や先生、保護者の方を対象とした講演会やワークショップを実施しております。正しい知識を身に付けることで、多様な性のあり方への理解を学校全体で深めます。

#### 具体的な取組内容

令和 6 年 5 月 24 日に今治西中学校にてトランスジェンダーの当事者の方による『自分らしく生きていく』の講演を生徒、教員及び希望の保護者に実施しました。令和 4 年度より営業担当が実施する制服に係る LGBTQ の勉強会も教員、保護者をスタートしております。

#### (実施校)

令和 4 年度：5 校、令和 5 年度：2 校、  
令和 6 年度：1 校 (令和 6 年 12 月 2 日現在)



今治西中学校での講演の様子

#### 成 果

- ① 性差のない制服の検討をすることになった。
- ② 4「質の高い教育をみんなに」、5「ジェンダー平等を実現しよう」を多角的な部分において貢献した。

理解を深めていただき校内でも現状の服装も要検討となり動き出す方向になりそうです。また、個人個人も考え方も変わってきていると思います。

#### 担当者の思い

SDGs 推進企業の認可を得たこともあり、社内での取組みも一人一人の行動で社会貢献につながる事はないかと話し合いを持ちました。

令和 5 年より「マイボトル」を積極的に使ってゴミを減らす活動を実施しております。

12「つくる責任 つかう責任」の観点から、学校のモデルチェンジによる廃棄ロスを少なくするように活動しております。モデルチェンジすると在庫が残ってしまいますので、在校生に向けて販売を促進して、在庫をできるだけ少なくすることで廃棄ロス軽減につなげております。

〈課長 二間 健介〉

# 株式会社山装



代表者 / 代表取締役 山本 明利  
業 種 / 建設業 (トータルリフォーム)  
所在地 / 愛媛県松山市土居田町 132-10  
連絡先 / 089-943-0373  
URL / <https://www.reform-yamaso.com/>

## SDGs 達成に向けた取組み

### 人材育成



#### 目的・背景

弊社は地域貢献を重視しており、建設業の会社として、他社に負けない提案・施工をするために、従業員一人一人のスキルアップを徹底します。

#### 具体的な取組内容

令和 5 年 10 月～令和 6 年 9 月

2 級建築士取得のための学校に、1 名が通学して受験しました。

令和 6 年 10 月～11 月

2 級建築施工管理技士取得のための学校に、3 名が通学して受験しました。

#### 成 果

- ① 2 級建築士 1 名取得
- ② 2 級建築施工管理技士 3 名受験して令和 7 年 2 月の合格発表待ち

令和 5 年度 2 級建築士試験 (最終合格率 22.3%) の受験に 1 名合格しました。

上記の者は、1 級建築施工管理技士も既に所得しており、設計・施工管理の両面の立場でお客様に提案できる人材となっています。

2 級建築施工管理技士試験を受験した 3 名についても、合否は後日となりますが、受験を通して学んだ事を活かして、よりよい提案・施工ができるようになっています。

#### 担当者の思い

令和 6 年 10 月末に本社を保免から土居田町に移転した事もあり、より広い地域の方に弊社を知ってもらい、資格取得とその過程で学んだ知識を活用して、この地域の方々の大事なお住まいの維持管理に貢献しております。

〈統括部長 中岡 健二〉

# 愛媛県SDGs推進企業一覧

【第4期（登録期間：～令和7年7月31日）】

番号	企業・団体等名	番号	企業・団体等名
1	東武トップツアーズ株式会社 松山支店	55	有限会社ウエコー
2	株式会社大石工作所	56	株式会社中温
3	株式会社四国ライト	57	西日本電信電話株式会社 四国支店
4	株式会社輝城	58	森実運輸株式会社
5	松竹塗装有限会社	59	四国加工株式会社
6	四国竹林塗装工業株式会社	60	コンフォートホテル松山（株式会社グリーンズ）
7	株式会社コスにじゅういち	61	株式会社CPI
8	トヨタカローラ愛媛株式会社	62	株式会社建設マネジメント四国 松山営業所
9	株式会社ニューズ	63	株式会社建設マネジメント四国 大洲営業所
10	キャリア・サポート株式会社	64	株式会社ビューティー・セレクト
11	川之江信用金庫	65	井原工業株式会社
12	株式会社ホーム設備	66	ゼロハウス株式会社
13	株式会社イクシオ	67	重松兄弟設備株式会社
14	株式会社日本有機四国	68	リコージャパン株式会社 愛媛支社
15	阿川食品株式会社	69	損害保険ジャパン株式会社 愛媛支店
16	日本生命保険相互会社 松山支社	70	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 新居浜営業所
17	有限会社シグマ企画	71	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 松山営業所
18	株式会社ガスキン椿	72	株式会社大旺
19	農業生産法人株式会社ミヤモトオレンジガーデン	73	ウダカエンジニアリング株式会社
20	有限会社福田瓦工業	74	安藤工業株式会社
21	株式会社宝荘ホテル（道後御湯）	75	株式会社 ONE'S STYLE NISHIKAWA
22	株式会社 Saku Saku	76	NTT ビジネスソリューションズ株式会社 愛媛ビジネス営業部
23	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 愛媛支店	77	日本テクノ株式会社 松山営業所
24	株式会社ベルモニー	78	キスケ株式会社
25	ジャスティン株式会社	79	三王ハウジング株式会社
26	ヤマセイ株式会社	80	三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社 松山支店
27	岡田電機株式会社	81	愛媛トヨタ自動車株式会社
28	宗教法人法華寺	82	有限会社田中総業
29	株式会社ローソン	83	NTT 西日本ビジネスフロント株式会社 愛媛支店
30	みずほ証券株式会社 松山支店	84	ためき本舗株式会社
31	佐川印刷株式会社	85	株式会社日淺
32	有限会社タカヨシ工業所	86	愛媛海運株式会社
33	IHテクノロジー株式会社	87	株式会社山装
34	東京海上日動火災保険株式会社 愛媛支店	88	株式会社田窪工業所
35	白石建設工業株式会社	90	有限会社角田塗装工業
36	株式会社曾我部鐵工所	91	金生商事株式会社
37	ABC 開発株式会社	92	有限会社影浦塗装工業
38	株式会社 LIHO ライジング	93	菊池建設工業株式会社
39	福神汽船株式会社	94	愛媛シールド工業株式会社
40	株式会社あわしま堂	95	株式会社阪急交通社 松山支店
41	株式会社ドコモCS 四国 愛媛支店	96	ダイキンエアテクノ株式会社 四国支店
42	株式会社山全 愛媛営業所	97	西条建設株式会社
43	大王製紙株式会社	98	社会福祉法人エリム会
44	株式会社さかい総合保険事務所	100	有限会社土居真珠
45	有限会社エントロピー	101	株式会社広告通信社 四国支店
46	株式会社二神組	102	ネットヨタ瀬戸内株式会社
47	太平ビルサービス株式会社 松山支店	103	株式会社NTT フィールドテクノ 愛媛設備部
48	株式会社ファミリーマート オペレーション本部 四国リージョン	104	株式会社高橋工務店
49	加地電設株式会社	105	山の手リゾート株式会社（道後山の手ホテル）
50	株式会社よしだ	106	株式会社西四国マツダ
51	三井住友海上火災保険株式会社 四国西支店	107	荒川電工株式会社 松山営業所
52	住友生命保険相互会社 新居浜支社	108	株式会社光和電機
53	青木電気工業株式会社	109	株式会社地域科学研究所
54	有限会社湯き国	117	南海測量設計株式会社

番号	企業・団体等名
118	企業組合こもねっと
119	株式会社グラン・ジュテ
121	株式会社洋武建設
122	株式会社 AZUMI
123	旭食品株式会社 松山支店
124	株式会社マルシン工業
125	合同会社 OHANA
126	大和リース株式会社 松山支店
127	有限会社山海興産
128	株式会社ケイ・アール総合企画
129	株式会社新光
130	株式会社森薫
131	株式会社オールウェイズ
132	株式会社沼田建設
133	加藤塗装工業株式会社
134	株式会社エコアシスト
135	道後ピクルス
136	株式会社アレス
137	株式会社石原自動車教習所
138	株式会社エイ・ビー・エム
139	株式会社久保建設
140	四国ガス株式会社
141	道後 hakuro
142	大同生命保険株式会社 松山支社
143	株式会社翔神
144	株式会社青空興業
145	桜井工業株式会社
146	株式会社ヒコ建設工業
147	株式会社勝山水道工業所
148	有限会社森本設備
149	株式会社カスタマーリレーションテレマーケティング 松山支店
150	株式会社古湧園 (ホテル古湧園選)
151	丹下建設工業株式会社
152	株式会社だんだん村
153	宇摩森林組合
154	愛媛管公学生服株式会社
155	宇和島自動車運送株式会社
156	株式会社前川
157	株式会社 OK.G
158	株式会社瀬戸内しまなみリーディング
159	株式会社大昌鉄工所
160	株式会社ケン・マツウラレーシングサービス
161	株式会社風土
162	森実タウンサービス株式会社
163	社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院
164	大和ハウス工業株式会社 愛媛支店
165	今治商工会議所
166	株式会社白石工務店
167	徳山総業株式会社
168	一宮運輸株式会社
169	有限会社松本組
170	宇和土建株式会社
171	株式会社 MEG
172	峰ちゃん農園

番号	企業・団体等名
173	株式会社マルケイ
174	株式会社フジコン
175	岡崎建設株式会社
176	伊藤善建設工業株式会社
177	有限会社清水防災
178	富永建設有限会社
179	亀岡建設株式会社
180	堀田建設株式会社
181	株式会社大三建設
182	あさひや建設株式会社
183	山電工業株式会社
184	株式会社こもだ寝装
185	有限会社前谷電設
186	萩尾機械工業株式会社
187	株式会社砂田塗装
188	薦田建設株式会社
189	株式会社ミライト
190	城東開発株式会社
191	株式会社よんやく
192	エスエスオート株式会社
193	株式会社匠 PAINT
194	株式会社大竹組
195	越智聖税理士事務所
196	有限会社石川テント
197	株式会社西功測量設計
198	平野建設株式会社
199	行政書士法人やまびこ
200	有限会社井上測量事務所
201	株式会社ワン・ステップ
202	有限会社高田測量設計事務所
203	共栄火災海上保険株式会社 四国支店
204	一若建設株式会社
205	株式会社マルカワ
206	芸予産業株式会社
207	株式会社ミキハウス
208	トーヨー・ロジテック株式会社
209	愛和印刷株式会社
210	NM FIRM
211	服部製紙株式会社
212	サンフォーテック株式会社
213	石岡建設株式会社
214	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 小松工場
215	河野鉄筋鋼業
216	有限会社太陽
217	大成海運株式会社
218	南海放送株式会社

※申請受付順 ※令和7年2月10日時点  
登録辞退者があるため、欠番あり





「愛媛県SDGs推進企業」に関するお問合せ

愛媛県経済労働部産業雇用局産業政策課 経済企画グループ  
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2  
TEL / 089-912-2475 FAX / 089-912-2259



令和7年2月発行

